

学生確保の見通し等を記載した書類

目次

(1)	学生確保の見通し及び申請者としての取組状況	・ ・ ・ ・	P2
	① 学生確保の見通し	・ ・ ・ ・	P2
	② 学生確保に向けた具体的な取組状況	・ ・ ・ ・	P10
(2)	人材需要の動向等社会の要請	・ ・ ・ ・	P13
	① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	・ ・ ・ ・	P13
	② 社会的、地域的な人材需要の動向を踏まえたものであること との客観的な根拠	・ ・ ・ ・	P14

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

(1) 入学定員設定の考え方

令和 5 (2023) 年宝塚市及び大阪市に設置構想中の宝塚医療大学保健医療学部口腔保健学科(以下、本学科という。)の入学定員を 64 人とし、収容定員は 256 人とした。この入学定員の設定にあたっては、近畿地区における同系統の学部学科の設置状況、入学定員、入学志願者の状況等、さらには本学科の設置構想予定地域の周辺に歯科衛生士養成課程を持つ大学の入学定員等から判断し、設定した。

また、上記の要件に加え「歯科衛生士学校養成所指定規則」にある 1 クラスの定員等も考慮し、教育効果や学習効率を十分に達成できる環境を構築する上で支障のない人数として、総合的に判断して入学定員を検討した。

令和 3 (2021) 年現在の近畿地区の大学の歯科衛生士養成課程は、2 校のみであり、合計の入学定員は 140 人である。いずれの大学も私立学校である。

これを入学定員でみると、歯科衛生士養成課程の定員はいずれの大学も 70 人である。

また、近隣地区の大学は大阪府下に 2 校が設立されているのみである。令和 4 (2022) 年度に兵庫県に 1 大学が新たに設置される計画であるが、京都府、奈良県、滋賀県、和歌山県には歯科衛生士を養成する大学は設置されていない。

このような近隣地区の定員並びに定員充足状況(後述)を参考として、入学定員を 64 人とした。

【資料 1】 令和 3 (2021) 年度近畿地区における歯科衛生士養成課程を持つ大学及び入学定員一覧

【資料 2】 令和 3 (2021) 年度近畿地区の歯科衛生士養成校の入学定員一覧

【資料 3】 宝塚医療大学の既設学部・学科の入学定員

(2) 入学定員充足の見込み

歯科衛生士養成課程を持つ大学の全国の志願者動向、近畿圏における志願者動向、設置構想中の本学科を取り巻く環境や競合大学の動向および、第三者機関による入学意向調査結果等により検証を行った結果、以下に記す内容により継続的に学生を確保し定員を充足する見通しであると判断している。

- 1) 近畿地区における 18 歳人口の推移及び大学進学率、地元残留率などから、本学科への一定の進学者を見込めること。
- 2) 歯科衛生士を含む「保健系学部」への全国的な進学ニーズが高いこと。
- 3) 近畿地区における歯科衛生士養成校への進学進学状況として、既存の歯科衛生士養成課程を持つ大学の近年の募集状況は堅調であり、今後も一定の進学ニーズが見込まれること。
- 4) 近畿地区における歯科衛生士養成校の設置状況から、歯科衛生士養成課程は増加傾向にあり、かつ大学における歯科衛生士養成課程の設置も増加傾向にあること。

- 5) 全国の歯科衛生士養成課程の状況から、全国的に歯科衛生士養成課程への進学は増加しており、全国的にも大学への進学希望者が増加していること。
- 6) 本学科の設置計画に当たって地元の歯科衛生士会から、設置を強く希望する要望書を頂いており、地域における人材養成、採用に対するニーズが高いこと。
- 7) 本学既存学部・学科においても安定した学生募集を行っており、本学科の設置に当たっても既存学科への進学実績等から一定の受験生確保が期待できること。
- 8) 本学科の設置計画にあたり実施した第三者機関による入学意向調査において、本学科への入学を希望すると回答した者が本学の入学定員を超える結果となり、受験生及び入学生の確保ができると考えられること。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

1) 近畿地区 18 歳人口予測および進学状況

株式会社リクルート進学総研が学校基本調査を基に作成されたデータ（近畿版・令和 3（2021）年 4 月）によると、近畿地区の 18 歳人口の推移は、近畿全体では漸減が続いているが、減少幅は、緩やかなペースで推移することが予想される。また、大学への進学率も近畿地区全体では令和 2（2020）年度は 56.7%となり、近年 10 年間で 8.9%増加している。本学の所在する兵庫県では 57.9%、大阪府では 56.5%と進学率はどちらも増加傾向となっており、今後も増加が見込まれる。

また、今回設置を計画している歯科衛生士養成課程は、主として女子の進学が多数であると見込まれる。近畿圏における女子の大学進学率は、55.2%であり、近年 10 年間で 13.9%増加しており、女子の大学進学傾向は明確である。

また、兵庫県と大阪府における地元残留率（進学にあたり地元の大学に進学する割合）は令和 2（2020）年度で兵庫県が 44.9%、大阪府で 57.4%であり、近畿圏の平均である 46.3%よりも高水準である。このことから、既存の宝塚医療大学の認知度が高い近隣府県からの一定の進学数を見込んでいる。

【資料 4】 近畿地区の 18 歳人口予測

【資料 5】 近畿地区の進学者数・進学率の推移

【資料 6】 近畿地区の地元残留率推移

2) 歯科衛生士を含む「保健系学部」への全国的な進学ニーズの高さ

日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター集計の「全国私立大学主な学部別の志願者・入学者動向」によると、令和 3（2021）年度の全国の保健系学部の入学試験動向は、学部数は 254 学部(前年比 10 学部増)、入学定員は 47,971 人(前年比 1,764 人増)、志願者数は 254,067 人（前年比 4,799 人増）、入学者数 38,143 人(前年比 922 人増)、入学定員充足率は 99.97%(前年比 1.37%減)となっており、全国の歯科衛生士を含む保健系学部への進学ニーズは高い水準で推移していると判断できる。

【資料 7】 主な学部別の志願者・入学者動向（大学）【抜粋】

3) 近畿地区における歯科衛生士養成校への進学ニーズ

近畿地区の歯科衛生士を要請する課程を有する私立大学は大阪府に2大学あり、令和4年度から兵庫県に新たに1大学が設置されるのみである。全国でも令和4年4月開設の大学を含めても私立大学は6大学、国公立大学は7大学である。

近畿地区に所在する2大学の令和元(2019)年から令和3(2021)年の直近3年間の募集状況は、表1のとおりである。(各大学ホームページ及び進学情報サイトの情報から作成。)

【表1】

近畿圏内の歯科衛生士養成課程を持つ大学の志願者・入学者状況

番号	大学名	学部・学科名称 入学定員	区分	2019	2020	2021
				H31/R1	R2	R3
1	梅花女子大学	看護保健学部口腔保健学科 H29(2017)年度開設 入学定員 70	出願者数(人)	275	249	260
			合格者数(人)	172	153	122
			入学者数(人)	76	74	78
			受験倍率(出願者数/入学定員)	3.9	3.6	3.7
			定員充足率(入学者数/入学定員)	1.1	1.1	1.1
2	大阪歯科大学	医療保健学部口腔保健学科 平成30(2018)年度開設 入学定員 70	出願者数(人)	107	176	120
			合格者数(人)	82	89	86
			入学者数(人)	77	74	71
			受験倍率(出願者数/入学定員)	1.5	2.5	1.7
			定員充足率(入学者数/入学定員)	1.1	1.1	1.0
-	近畿圏合計	-	出願者数(人)	382	425	380
			合格者数(人)	254	242	208
			入学者数(人)	153	148	149
			受験倍率(出願者数/入学定員)	2.7	3.0	2.7
			定員充足率(入学者数/入学定員)	1.1	1.1	1.1

2大学とも、毎年募集定員を上回る志願者を集めている。過去3年間の入学試験を比較すると、志願者数の劇的な変化は見受けられず、平均すると受験倍率で2.7倍~3倍、定員充足率で1.06倍~1.09倍と安定している。また、入学歩留率(合格者数に対する入学者数の割合)は、1.4倍~1.7倍となっている。

令和2(2020)年度からは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い大学受験に当たっても併願受験の減少などにより志願者が減少する傾向が全国的に見られる中、一定の志願者を確保しており、歯科衛生士養成課程に対して毎年安定的な進学希望者があることが予想される。

上記のとおり、近畿圏内の所在する歯科衛生士養成課程を持つ大学では、いずれも近年設置されている新しい学科であるが、安定して志願者及び入学者を確保しており、当該課程においては進学ニーズが高まっている考えられる。

これらのことから、当該2大学の志願者数と入学者数を勘案すると、本学科の定員64人の志願者及び入学者を確保することは可能であると思料する。

4) 近畿地区における歯科衛生士養成課程の設置状況

令和3(2021)年度の近畿地区における歯科衛生士養成課程のある私立大学の設置状況は、2大学のみである(いずれも大阪府)。令和4(2022)年度に兵庫県内に1大学が新たに歯科衛生士養成課程を持つ学科を設置する計画である。短期大学は、3大学あるが、内1大学は令和4(2022)年度から4年生大学に組織変更する予定である。一方、専修学校は令和3(2021)年度では大阪

府で 11 校、兵庫県で 4 校であり、令和 4（2022）年度に各府県に 1 校ずつ増加予定である。京都府では 3 校、奈良県、和歌山県、滋賀県では各 1 校が設置されている。

近畿圏における令和 3（2021）年度の歯科衛生士養成学校の総入学定員は、1,669 人（内夜間部の入学定員が 170 人）であり、大学における入学定員は 140 人となっている。

このように歯科衛生士の養成については、現在のところ専修学校での教育が多数を占めている状況であり、かつ大学、専修学校いずれも増加傾向にある。

5) 全国の歯科衛生士養成課程の状況

一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会が令和 3（2021）年に実施した加盟校 173 校に対するアンケート調査によると、全国の同協会加盟校全体の入学定員は、9,482 人、入学者数は 8,651 人でいずれも過去最高数になっている。

全国の入学定員に対する入学者数の割合（入学定員充足率）は、平成 28（2016）年度以降 80%台となっていたが、令和 3（2021）年度には、91.2%に回復している。

入学定員充足率の 10 年間の推移を地区別に見ると、地区によって若干の違いはあるが、平成 30（2018）年度を底として徐々に回復傾向にあり、令和 3（2021）年度は、すべての地区で前年度を上回っている。

また、入学定員に対する入学志願者数の割合については、近年は 1.1 倍程度の横ばいであったが、令和 3（2021）年度では、1.22 倍と増加しており、定員未充足校数も昨年度から減少している。

また、全体の傾向として、志願者倍率では大学が、入学定員充足率では短期大学が高いことが示されている。

これらのことから、全国的に歯科衛生士養成課程の受験者数、入学者数は増加傾向にあること、また、大学の志願倍率は、令和 3（2021）年度は 2.37 倍で専修学校、短期大学に比べて高く、全国的に大学進学を希望する者が増加しており、今後も増加することか予想される。

【資料 8】 歯科衛生士教育に関する現状調査の結果報告【抜粋】

6) 本学科への業界団体からの要望等

本学科の設置に先立ち、大阪府歯科衛生士会及び兵庫県歯科衛生士会に本学において 4 年生大学で歯科衛生士養成課程を新たに設置することについて、意見を伺った。

その結果、歯科衛生士教育の高度化は、今後の歯科衛生士の業務範囲の拡大などが予想されることから必須であると考えられ、4 年制大学としてふさわしい高度な教育の実施を期待されていること。また、地域の歯科衛生士の確保の面から、歯科衛生士の安定的な供給についても関心が高い旨、意見があり、本学設置に関する要望書を受け取った。

このことから、本学科の設置は、近隣の関連業界団体からも歓迎されており、高度な人材養成への期待の高さがうかがえる。

【資料 9】 歯科衛生士会からの要望書

7) 既設学部の入学試験状況

過去4年間の本学における入学志願状況は表2のとおりである。

本学は、兵庫県宝塚市に所在する保健医療学部¹に理学療法学科、柔道整復学科、鍼灸学科の3学科を置き、和歌山県和歌山市に所在する和歌山保健医療学部²にリハビリテーション学科を置いている。また、令和4（2022）からは、和歌山保健医療学部²に看護学科を新たに設置する。

本学全体としては、令和3（2021）年度時点で、2学部4学科、（入学定員260人）を設置している。

保健医療学部においては、3学科を設置しており、近年4年間の平均入学定員超過率は1.10倍である。学科によってわずかに入学定員を下回る年度があるが、大幅な定員未充足はなく、安定して入学者を確保している。

和歌山保健医療学部には、1学科2専攻を設置している。当該学部は令和2（2020）年度開設であるが、開設以来2年間とも入学定員を充足している。また、和歌山保健医療学部では、和歌山県内からの進学者が95%以上となっており、設置の際の目的の一つであった県内学生を県内において教育し、優れたリハビリテーション人材を養成することの達成に貢献している。

以上のとおり、宝塚医療大学の既存の学部学科においては、近年4年間、いずれの学部学科でも適切な入学生確保を行っている。

既存学科への進学実績から、後述する高校訪問等とおして本学科への一定の受験生を確保出来る³と考える。

【表2】 宝塚医療大学 既存学部の学生募集状況

区 分	項 目	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	平均入学 定員超過率
宝塚医療大学 保健医療学部 (合計)	入学定員超過率	(1.08)	(1.16)	(1.16)	(1.07)	(1.12)
	入 学 者 数	172	185	186	171	
	入 学 定 員	160	160	160	160	
理学療法学科	入学定員超過率	(1.14)	(1.10)	(1.06)	(0.99)	(1.07)
	入 学 者 数	80	77	74	69	
	入 学 定 員	70	70	70	70	
柔道整復学科	入学定員超過率	(1.05)	(1.20)	(1.28)	(1.25)	(1.20)
	入 学 者 数	63	72	77	75	
	入 学 定 員	60	60	60	60	
鍼灸学科	入学定員超過率	(0.97)	(1.20)	(1.17)	(0.90)	(1.06)
	入 学 者 数	29	36	35	27	
	入 学 定 員	30	30	30	30	
宝塚医療大学 和歌山保健医療学部 リハビリテーション学科 ※R2開設 (合計)	入学定員超過率	-	-	(1.02)	(1.01)	(1.02)
	入 学 者 数	-	-	102	101	
	入 学 定 員	-	-	100	100	

8) 第三者機関による入学意向調査結果の概要

i アンケート調査の概要

宝塚医療大学が設置構想中の「保健医療学部口腔保健学科（仮称）」における入学意向調査を第三者機関に依頼してアンケート調査を実施した。調査概要は以下のとおりである。

調査目的	2023（令和5）年4月開設に向け、設置構想中である宝塚医療大学「保健医療学部口腔保健学科」（仮称／入学定員64名を予定）の志願・入学意向のニーズを大学外の第三者機関によるアンケート調査を用いて、学生確保の見通しを測ることを目的とする。
調査時期	2021（令和3）年12月～2022（令和4）年2月
調査対象	近畿2府4県の高等学校から学力水準、宝塚医療大学への志願動向等を踏まえ、361校へアンケート調査実施を依頼した。
調査内容	選択肢式の10問。 回答者の基本情報（居住地、性別、希望進路）、宝塚医療大学「保健医療学部口腔保健学科（仮称）」への受験・入学意志等。
有効回答件数	7,698件 ※実施62校内訳は下表の通り

都道府県	県立	市立	私立	府立	総計
京都府			5		5
滋賀県	1				1
大阪府		1	17	7	25
兵庫県	15		11		26
和歌山県	5				5
総計	21	1	33	7	62

ii 主な設問内容および集計結果

問4 あなたは宝塚医療大学が設置構想中の「保健医療学部口腔保健学科（仮称）」を受験したいと思いますか。

選択項目		回答数	構成比
1	受験したい	464	6.0%
2	受験しない	7,142	92.8%
	無回答	92	1.2%
合計		7,698	100.0%

問5～問7は、問4にて「受験したい」と回答した 464 人が回答対象である

問5 あなたは宝塚医療大学が構想中の「保健医療学部口腔衛生学科科（仮称）」に合格した場合、入学したいと思いますか。

選択項目		回答数	構成比
1	入学したい	71	15.3%
2	併願大学の結果によっては入学したい	393	84.7%
	無回答	0	0.0%
合計		464	100.0%

問7 あなたが宝塚医療大学が構想中の「保健医療学部口腔衛生学科（仮称）」を「受験したい」とした理由をお答えください。（複数回答）

選択項目		回答数	回答率
1	歯科衛生士(国家資格)の受験資格が取得できるから	80	17.2%
2	歯科医療について高い専門性と確かな技術が学べるから	36	7.8%
3	新設の学科だから	20	4.3%
4	キャンパスの立地が良く通学に便利そうだから	23	5.0%
5	学科の特色に興味があるから	40	8.6%
6	その他	128	27.6%
	無回答	185	39.9%

問8は、問4にて「受験したい」かつ問5にて「併願大学の結果によっては入学したい」と回答した 393 人が回答の対象である。

iii アンケート調査の集計結果のポイント

- ・回答者の所在地で一番多かったのは、「兵庫県」で3,628人（47.1%）であった。次いで「大阪府」が2,305人（29.9%）、「和歌山県」が798人（10.4%）の順であった。
- ・高校卒業後の希望進路は8割以上の学生が「進学」を希望。
- ・入学定員の7.25倍の464人が受験意志を示した。
- ・「保健医療学部 口腔保健学科（仮称）」に71人が強い入学意志を示した。
- ・当該学部学科の受験希望理由は「医療系の資格取得」が17.2%と最大であった。
- ・併願先は、他大学の医療系学部・学科との回答が10.4%と最大であった。

iv アンケート調査から類推される受験・入学意欲と入学希望専攻の関係および学生確保の見通し

当該学科の入学定員は64人としている。本調査では、入学定員64人に対して約7.3倍の464人が当該学部学科を「受験したい」と回答している。これらの回答者について、入学意欲と入学を希望する専攻の関係を検証するためのクロス集計を行った結果は下表のとおりである。

入学意欲と希望専攻の関係

Q3「進学」	Q5「受験したい」	Q6「入学したい」	入学定員
6,468 人	461 人	71 人	64 名

上表のとおり受験・入学の意欲を持つと考える者の数は71人と入学定員を上回る結果となっている。

また、本調査は設置予定地である大阪府を中心に、近畿2府4県の高等学校に依頼をしているが、回答者の居住地の多くを占める大阪府や兵庫県の高校の調査実施率は、大阪府が13.7%（依頼182校中25校実施）、兵庫県が28.3%（依頼92校中26校実施）である。

上記回答結果および前述の実施状況を踏まえると、調査を実施していない高校にも入学意志を持つ者は潜在する可能性があることを勘案すると、今後の積極的な募集活動を前提として、2023（令和5）年4月に設置構想中である宝塚医療大学「保健医療学部 口腔保健学科（仮称）」の学生確保の見通しについて問題がないと考えられる。

【資料10】第三者機関による入学意向調査結果

ウ 学生納付金の設定の考え方

本学部の学生納付金は、大学運営の根幹になる財源と考えていることから、設置の意義を踏まえつつ、表3のとおり、他大学の状況等を参考として設定した。その結果、初年次学生納付金は150万円、4年間合計では510万円とした。内訳は入学金30万円、授業料70万円、施設管理費

20万円、実習費30万円である。近畿圏内に所在する4年制大学の歯科衛生士養成課程の4年間の授業料等納付金の合計に比べ、同等若しくは安価となるように設定し、学生及び保護者への負担に配慮した。

当該学納金によるシミュレーションを行ったところ、完成年度には消費収支差額はプラスになることが予想され、学生納付金の設定は妥当なものであると考える。

【表3】

近畿圏で歯科衛生士養成課程を持つ大学の学生納付金比較表

大学名	入学定員	入学金	(単位:円)	
			学生納付金	学生納付金 4年間合計
宝塚医療大学 保健医療学部 口腔保健学科	64人	300,000	1,200,000	5,100,000
梅花女子大学 看護保健学部 口腔保健学科	40人	20,000	1,350,000(1年次) 1,504,500(2年次以降)	6,083,500
大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科	70人	260,000	1,320,000	5,540,000
神戸常盤大学 保健科学部 口腔保健学科(R4新設)	70人	260,000	1,200,000	5,060,000

②学生確保に向けた具体的な取組状況

宝塚医療大学のこれまでの取り組みについて述べるとともに、本学科についても、踏襲して取り組んでいく。

本学では学生確保に向け、広報委員会・入学試験委員会(両委員会とも事務職員も委員として参加)と連携しながら、入試課が中心となり様々な取り組みを行っている。広報委員会において、学生募集業務及び各種広報企画を策定して学科内の教員と連携しながら取り組んでいく体制が構築されている。この体制により、「オープンキャンパス」「高校ガイダンス(出前講義)」「高校訪問」「進学説明会」等の学生募集活動及び入学試験業務を教職協働で連携し取り組んでいる。

主な取り組み状況は、以下のとおりである。

1) オープンキャンパス

毎年、各高等学校のイベントや競合大学のスケジュールを鑑みた上で、本学が求める学生が幅広く参加できるよう日程を調整し、内容においても開催時期ごとにテーマを設け、本学の認知向上とともに各学問領域への興味を喚起するものとなっている。令和3(2021)年度は保健医療学部では11回、和歌山保健医療学部では10回、開催した。具体的には、「各学科紹介」「実技体験授業」「模擬講義」「入学試験説明」「在学生によるフリートーク」に加え、「保護者のための進学説明会」を実施し、高校生だけでなく保護者への情報提供にも注力している。

また、参加高校生等から身近なお兄さん、お姉さんの存在として評価の高い本学学生有志による広報隊を平成28(2016)年度より結成し、オープンキャンパスにおいて、受付、誘導、来場者対応、キャンパスツアー及び個別対応など、オープンキャンパス全体に参加している。令和3年度は宝塚キャンパスでは、56人、和歌山キャンパスでは21人が広報隊としてオープンキャンパスに参加した。協力していただいている学生たちの参加意識も高く来場者アンケートにおいても非常に評価が高い。

オープンキャンパス参加者数の状況は、表4のとおりである。

令和 2 (2020) 年度の参加者数は保健医療学部（宝塚キャンパス）で大きく減少した。これは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う開催自粛や、近隣府県からの参加者が大きく減少したことによると分析している。令和 3 (2021) 年度も引き続きオープンキャンパスへの来場者確保には苦慮したが、時間の短縮、一部オンラインで開催する、検温・手指消毒の徹底及び施設の清拭など参加者、学生、教職員の安全に十分に配慮しながら開催した。

その結果、令和 3 (2021) 年度は、保健医療学部においては、参加者数が回復傾向となった。和歌山保健医療学部においては、参加者が増加しているが、これは、令和 4 (2022) 年度から新たに看護学科を開設することも好材料であったと考えられる。

【表 4】

オープンキャンパス参加状況（過去5 年間）					(単位：人)
	平成29 (2017) 年度	平成30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度
保健医療学部	701	878	1,217	622	770
和歌山 保健医療学部	—	—	476	467	528

2) 受験雑誌・進学サイト等への告知広告

毎年広告効果の分析を行いながら、既存の掲載情報に加え新企画への掲載・新規媒体への出稿・広告枠の拡大などを順次実施する。掲載時期・媒体ごとに出稿する文言や表現を適切に調整し、一貫性を持たせながらも様々な角度から学生に訴求できる体制を整えている。また、対象については受験生を中心にしながら保護者や高校教員向けに広げ、認知への充実を図っている。開学以来、当該媒体からのアクセス数及び資料請求数表 5 のとおり逡増しており、今後もさらなる増加が期待できる。

また、例年 6 月下旬に宝塚キャンパス、和歌山キャンパスともに「大学説明会」を実施し、重点エリアの高等学校の進路指導担当教員にご来学いただき、大学概要、学生募集（入試、学費、奨学金等）方針について直接説明し、在学生の学びの様子を伝えている。

【表 5】 本学への資料請求件数（3 年間）

年度	平成30(2018) 年度	令和元(2019) 年度	令和2 (2020) 年度
資料請求件数	5,299	5,383	6,401

3) 高校ガイダンス・出前講義

本学の通学圏内として見込めるエリアを中心に、年間を通してガイダンスを実施している。

実施分野を限定し、医療・福祉関連への興味関心の高い生徒との接点を増やすと同時に、対象者を意識したパンフレットを作成して周知をしている。また、本学との高校訪問等を通じて関係が密接になりつつある、中国・九州地区での高校ガイダンスにも積極的に参加するよう努めている。現在、和歌山県の高校からの要望には特に積極的に参加している。

高校現場からの要望の高い、スポーツ関連課外活動高校生を集めてのトレーニング方法や体のケア等についての実技を含めた出前授業をさらに増やすと共に、口腔保健とも関連が強い保育・福祉分野のコースを持つ高等学校との関連強化を図る計画である。

【表 6】 高校ガイダンス・出前講義参加実績（3年間）

年度	令和元(2019)年度	令和 2(2020)年度	令和 3(2021)年度
高校ガイダンス・ 出前講義参加実績	延べ45会場で実施 410 人と接触	延べ50会場で実施 508 人と接触	延べ190会場で実施 2,597 人と接触

4) 高校訪問

高校訪問は、募集戦略の肝と考えており、積極的に展開している。訪問目的と必要性を吟味し、訪問対象校や訪問時期・訪問回数・提案内容・接触者を精査しながら、本学の認知を高めることで当該分野に興味のある生徒の獲得を狙うとともに、地元志向も高まっていることから、地元校との連携を踏まえ、高大接続の機会を増やすよう努めている。

高校訪問数は、過去 3 年間確実に増加させている。(580 校→752 校→863 校) 特に令和 3 (2021) 年度は、入学試験制度改編の周知と和歌山保健医療学部の学生募集強化を主眼として訪問頻度を上げた。

口腔保健学科においては、これまでの本学既存学科への進学実績を参考にしながら、同一法人が設置している「なにわ歯科衛生専門学校」への進学状況も勘案し、計画的な高校訪問を実施する計画である。

訪問先の高等学校は、近畿圏を中心に、近年ガイダンス等で関連を深めている中国・九州地区の高等学校も視野に入れ、本学全体で延べ訪問数 1,000 校を目標に実施する計画である。

【表 7】 高校訪問数（3年間）

年度	令和元(2019)年度	令和 2(2020)年度	令和 3(2021)年度
高校訪問数	580	752	863

(予備校・塾を含む)

5) 本学 WEB サイト

本学 WEB サイト（ホームページ）に本学科設置の案内ページを開設し、既存サイトとの差別化を図り興味を促すとともに、日々更新される最新情報を滞りなく発信するツールとして活用することを計画している。

近畿圏だけではなく、実際に本学に来校することが容易ではない全国の生徒や保護者に対しても即時的に情報を提供する。さらに、ブログや SNS（Social Networking Service）を活用し、大学からの情報発信を活発に行い、大学の中身を積極的に伝えている。

ホームページは、令和 3 (2021)年度から技術的にレスポンス対応、CMS 対応等の機能を施し、大幅なりニューアルを実施した。今後はこれに加えて、情報コンテンツを充実させることにより、発信力を高め、大学認知度を向上させていく。またホームページに組み込まれているブログ更新については、各学科持ち回りで担当し、更新頻度を格段に高め、キャンパスの躍動感をより鮮明に発信していく。

また、令和 3 (2021) 年度からは、本学 Web ページにおいて、Web 出願 (Web 上で本学への入学出願書類のダウンロード・提出を受け付けるシステム。)を開始している。本学科においても Web 出願を導入し、受験生の利便性向上を図る。

本学ホームページへのアクセス数は、表 8 のとおりであり、過去 3 年間で順調に増加しており、今後もホームページの充実を図り、情報発信能力の向上に努める。

【表 8】 本学ホームページ訪問者数 (3 年間)

年度	平成30(2018) 年度	令和元(2019) 年度	令和2 (2020) 年度
資料請求件数	619,547 件	625,452 件	658,824 件

*本学ホームページのトップページが閲覧された回数

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)

ア 教育研究の目的

宝塚医療大学は、学則において「徳義の涵養と人間性尊厳の実践を理念とし、医療人たる社会的責務を自覚せしめ、国際社会に伍して恥じぬ恒心をもつ、有徳の人材を育成する」を建学の精神として、生命を尊重し、人間の尊厳に関する深い洞察力を持ち、高い創造力や問題解決能力を有し、積極的に研究活動に取り組む人材を育成することを大学の目的と定めている。さらに学則に基づき、保健医療学部規則第 3 条において、本学部の教育研究上の目的を以下の通り定めている。

「人間性豊かな幅広い教養，高い倫理観，高い創造性，理論的思考力，問題発見・解決の能力，生涯にわたり学び続ける意思と能力などを身につけることのできる教育を行い，医療技術専門職として強い使命感と責任感を有し，コミュニケーション能力が高く，患者との間に良好な信頼関係が樹立できる能力を持ち，さらに，医療に係わる最新の専門的知識，先端医療科学にも対応できる能力を持って，医療チームの一員として医療を支援できる医療技術者，並びに運動を通じて健康の維持・管理を行い，生活習慣病の予防，QOL（生活の質）の向上を図ることのできる運動健康指導者や学校管理下における挫傷・打撲，骨折，捻挫の怪我等による不足の事態に的確な応急処置ができる者の育成を図ることを目的とする。」

イ 人材養成に関する目的と養成する人材像

本学科では、上記建学の精神とそれに基づく本学科教育研究上の目的を達成するため、以下の能力を有する人材を養成することを目的とする。

また、上記学部の人材養成の目的に基づき、本学科における人材養成の目的を次のとおり定めている。

保健医療学部 口腔保健学科

- ・ 幅広い教養と医療人として必要な高い倫理観・道徳心を身につけた人材
- ・ 歯科衛生士として必要な医療に関する基礎的知識と社会人として様々な分野で活用できる知識を身につけた人材
- ・ 歯科衛生士として必要な専門的な医療知識及び技術を身につけた人材
- ・ 研究の素養を身につけ、自ら課題を発見し、解決策を見いだす力を持つ人材
- ・ 地域医療・保健・福祉に貢献する意欲と能力を持つ人材

本学科は、豊かな教養と専門知識、技術を身に付け、地域の歯科医療・保健・福祉に貢献することを目指す。高齢化の進展、疾病構造の変化等に伴い、歯科医衛生士の必要性、重要性が一層増し、今後は業務範囲がさらに拡大することが見込まれることから、主な就職先としては、次のとおり想定している。

- ・ 病院、歯科診療所に歯科衛生士として就職
- ・ 介護老人保健・福祉施設、衛生行政機関等に歯科衛生士として就職
- ・ 医療に関する専門知識を活かして医療関連企業へ就職
- ・ 歯科衛生士養成機関に教員として就職
- ・ 口腔保健学系、歯学系大学院への進学

② 社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

ア 社会的な歯科衛生士の需要見通し

1) 歯科衛生士の従事者の現況

厚生労働省の「衛生行政報告例」によると、令和2（2020）年度の全国の就業歯科衛生士数は、142,760人であり、平成30（2018）年調査に比べ10,131人（7.6%）増加している。

就業場所別にみると、「診療所」が129,758人（構成割合90.9%）と最も多く、「診療所以外」は13,002人（9.1%）で、そのうち「病院」が7,029人（4.9%）、次いで「市町村」が2,060人（1.4%）となっている。介護保険施設、事業所等に関しては、前回から大きな変化はない。

このことから就労している歯科衛生士の数は増加傾向にあり、今後も一定以上の人材への充当があると考えられる。

令和2（2020）年の就業歯科衛生士数を年齢階級別にみると、前年度と比較して「30～34歳」が1.7%減少し、「50歳以上」が2.3%増加しているが、「25～29歳」から「45～49歳」にかけて概ね均等に分布している。過去10年間の推移でも、平成24年までは「25～29歳」が他の階級より高い割合であったが、徐々に30歳以上の割合が増加し、平成28年からは「50歳以上」の割合が最も高くなった。これは歯科衛生士としてキャリア形成の幅がひろがっており、歯科衛生士の就業意識の向上及び復職への支援が積極的に行われるようになったためであると考えられ、歯科衛生士が生涯の業として、幅広い年代の人材が活躍できる職場となっていることがうかがえる。

次に、歯科衛生士の主な就職となる歯科診療所の状況を見ると、令和元（2019）年度で、全国に68,500の診療所が開設されている。人口10万人対施設数では、54.3施設となっている。

平成 29（2017）年度から施設数、人口 10 万人対施設数共に大きな増減はなく、安定して一定数の歯科診療所が開設・運営されている。

【資料 11】 衛生行政報告例

2) 直近 5 年間の歯科衛生士の国家試験合格者数

令和 3（2021）年の歯科衛生士の国家試験合格者の結果を見ると、受験者 7,099 人、合格者数 6,624 人である。合格率 93.3%で前年度より 1.0 ポイント下がっていて、大きな難易度の変化はないと考えられる。

歯科衛生士国家試験合格者数は、直近 5 年間は若干減少傾向にある。これは平成 28（2016）年度頃が、全国の各養成校において定員割れが多かった時期であることから、近年では受験者数が減少していることによると考えられる。現在、歯科衛生士養成校の学生募集状況が改善していることから、これからは受験者数が増加することが予想される。

国家試験の合格率は例年 90%を超える結果となっており、安定した合格状況であることがうかがえる。

【資料 12】 都道府県—指定都市・特別区・中核市（再掲）別にみた施設数及び人口 10 万対施設数

【資料 13】 歯科衛生士国家試験結果（過去 5 年間）

3) 今後の歯科医衛生士への求人見通し

近年、急速な少子高齢化が進行し、社会環境や医療環境が大きく変化進行する中で、口腔衛生の専門職である歯科衛生士の進路はこれまでの歯科医院以外に社会福祉・健康関連分野の企業にも需要が広がっている。

今後は一層歯科衛生士の特性を生かした新しい職域の需要が拡大されることが期待される。

一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会の令和 3（2021）6 月「歯科衛生士教育に関する現状調査の結果報告」によると当該協議会会員校 173 校の卒業者数は 6,752 人、就職者数 6,182 人で、就職率は 91.6%であった。これに対して求人件数は 74,444 件で、求人人数は 119,994 人、就職者に対する求人倍率は 19.4 倍で、平成 28（2016）年度から非常に高い倍率のまま横ばいを示している。近畿・北陸地区は、当該調査によると就職率は 89.6%と低い傾向があるが、求人数などから判断すると本学科を設置しても十分な求人数が見込まれると考えられ、就職先の確保は確実にできると思料する。

また、株式会社リクルートの調査によると、令和 3（2021）年度大学卒業予定者の求人倍率が 1.53 倍であり、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い企業の採用意欲が低下している中、歯科衛生士については高い求人倍率となっており、歯科衛生士の人材が全国的に不足していることがうかがえる。

イ 地域的な歯科衛生士の需要見通し

近畿地区の歯科診療所の状況を見ると、令和元（2019）年度で、大阪府での開設数が最も多く、令和元（2019）年度で 5,517 施設、次いで兵庫県の 2,986 施設である。人口 10 万人対施設数で見ると、大阪府は 62.6 施設で 8.3 ポイント上回っているが、兵庫県では 54.6 施設と、全国とは

ぼ同程度である。京都府と奈良県では全国平均を下回っているが、和歌山県では、全国平均を上回る施設数となっている。

いずれの都道府県においても、全国と同様大きな増減はなく、本学科を設置した場合、安定した就職先の確保が可能であると考えられる。

【資料 12】都道府県—指定都市・特別区・中核市（再掲）別にみた施設数及び人口 10 万対施設数（再掲）

2) 第三者機関による人材需要の見通し調査結果の概要

i アンケート調査の概要

調査目的	2023（令和 5）年 4 月開設に向け、設置構想中である宝塚医療大学「保健医療学部 口腔保健学科」（仮称／入学定員 64 名を予定）の人材需要のニーズを第三者機関によるアンケート調査を用いて測ることを目的とする。
調査時期	2021（令和 3）年 12 月～2022（令和 4）年 2 月
調査対象	京阪神を主たる対象として、宝塚医療大学「保健医療学部 口腔保健学科（仮称）」が卒業後に歯科衛生士としての採用を想定する病院、歯科診療所、保健センター、介護福祉施設等の 751 件の機関・施設に調査を依頼した。
調査内容	選択肢式の 10 問。一部記述式。 回答機関・施設の基本情報（種別、所在地）、歯科衛生士について（勤務人数、採用状況、充足状況、新卒採用）、宝塚医療大学「保健医療学部 口腔保健学科（仮称）」の卒業生の採用意向等。
有効回答件数	140 件

ii 主な設問内容および集計結果

問 5 貴機関・貴施設における歯科衛生士の充足状況についてお答えください

選択項目		回答数	構成比
1	大きく不足している	19	13.6%
2	やや不足している	67	47.9%
3	適度に充足している	46	32.9%
4	過剰である	1	0.7%
	無回答	7	5.0%
合計		140	100.0%

問6 今後の歯科衛生士の新卒採用についてお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	4年制大学の卒業生を中心に採用していきたい	7	5.0%
2	短期大学の卒業生を中心に採用していきたい	2	1.4%
3	専門学校卒業生を中心に採用していきたい	2	1.4%
4	大学、短期大学、専門学校の卒業生をバランスよく採用していきたい	9	6.4%
5	学校種には特にこだわらない	110	78.6%
6	その他	9	6.4%
	無回答	1	0.7%
合計		140	100.0%

問8 貴機関・貴施設において将来、宝塚医療大学「保健医療学部口腔保健学科（仮称）」を卒業した歯科衛生士を、採用したいと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	採用したい	95	67.9%
2	採用しない	6	4.3%
3	わからない	38	27.1%
	無回答	1	0.7%
合計		140	100.0%

問9 問8で「採用したい」と回答された場合、よろしければ採用可能と思われる人数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	1人	32	33.7%
2	2人	22	23.2%
3	3人	2	2.1%
4	4人	1	1.1%
5	5人以上	2	2.1%
6	人数は未定だが最低1人	36	37.9%
	無回答	0	0.0%
合計		95	100.0%

iii 調査結果のポイント

- ・回答機関・施設の種別で一番多かったのは、「歯科診療所・クリニック」で 114 件(81.4%)、次いで「病院」が 8 件 (5.7%)、「医療関連企業」が 7 件 (5.0%) の順であった
- ・所在地で一番多かったのは「大阪府」が 70 件(60.0%)、次いで「兵庫県」が 33 件 (23.6%)、「京都府」が 21 件 (15.0%)
- ・現在勤務している歯科衛生士の人数は「2～4 名」が 3 割以上
- ・6 割以上の機関・施設が、歯科衛生士が「不足している」と回答
- ・新卒採用について、学校種に特にこだわらないとした回答が最も多かった
- ・男性歯科衛生士の就職先に 4 種の機関・施設が適切であるとの回答が半数以上を超える
- ・6 割以上の機関・施設が「保健医療学部 口腔保健学科 (仮称)」の卒業生の採用意志を示す
- ・「保健医療学部 口腔保健学科 (仮称)」を卒業した歯科衛生士の採用可能人数は、132 人

「保健医療学部 口腔保健学科 (仮称)」の入学定員は 64 名を予定しているが、入学定員を超える 95 件の機関・施設から「保健医療学部 口腔保健学科 (仮称)」を卒業した歯科衛生士を「採用したい」と回答があった。さらに、その 95 件に対し、採用可能と思われる人数を質問したところ、合計 132 人となり、入学定員を大きく上回る結果であった。

以上の調査結果と歯科衛生士への求人状況等の数値予想を鑑みると、宝塚医療大学保健医療学部口腔保健学科 64 人の卒業生の就職先は十分に確保できるものと考ええる。

【資料 14】 第三者機関による人材需要の見通し調査結果

学生確保の見通し等を記載した書類 別添資料 目次

資料 1	令和 3（2021）年度近畿地区における歯科衛生士養成課程を持つ大学及び入学定員一覧	P2
資料 2	令和 3（2021）年度近畿地区の歯科衛生士養成校の入学定員一覧	P2
資料 3	宝塚医療大学の既設学部・学科の入学定員	P3
資料 4	近畿地区の 18 歳人口予測	P3
資料 5	近畿地区の進学者数・進学率の推移	P4
資料 6	近畿地区の地元残留率推移	P4
資料 7	主な学部別の志願者・入学者動向（大学）【抜粋】	P5
資料 8	歯科衛生士教育に関する現状調査の結果報告【抜粋】	P6
資料 9	歯科衛生士会からの要望書	P7
資料 10	第三者機関による入学意向調査結果	P9
資料 11	衛生行政報告例	P26
資料 12	都道府県一指定都市・特別区・中核市（再掲）別にみた施設数及び人口 10 万対施設数	P27
資料 13	歯科衛生士国家試験結果（過去 5 年間）	P27
資料 14	第三者機関による人材需要の見通し調査結果	P28

【資料 1】令和 3（2021）年度近畿地区における歯科衛生士養成課程を持つ大学及び入学定員一覧

	大学名・学部、学科名	入学定員
本学科	宝塚医療大学 保健医療学部 口腔保健学科	50
1	梅花女子大学 看護保健学部 口腔保健学科	70
2	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科	70
〈参考〉	神戸常盤大学 保健科学部 口腔保健学科（R4 新設）	70

【資料 2】令和 3（2021）年度近畿地区の歯科衛生士養成校の入学定員一覧

府県	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
大 学	0	0	140	0	0	0	140
短期大学	0	0	100	140*	0	0	240
専修学校	38	190	616 (170)	200	35	40	1,119 (170)
合 計	38	190	856 (170)	340	35	40	1,499 (170)

*内 70 は令和 3 年度で募集停止

（ ）内は夜間部の定員

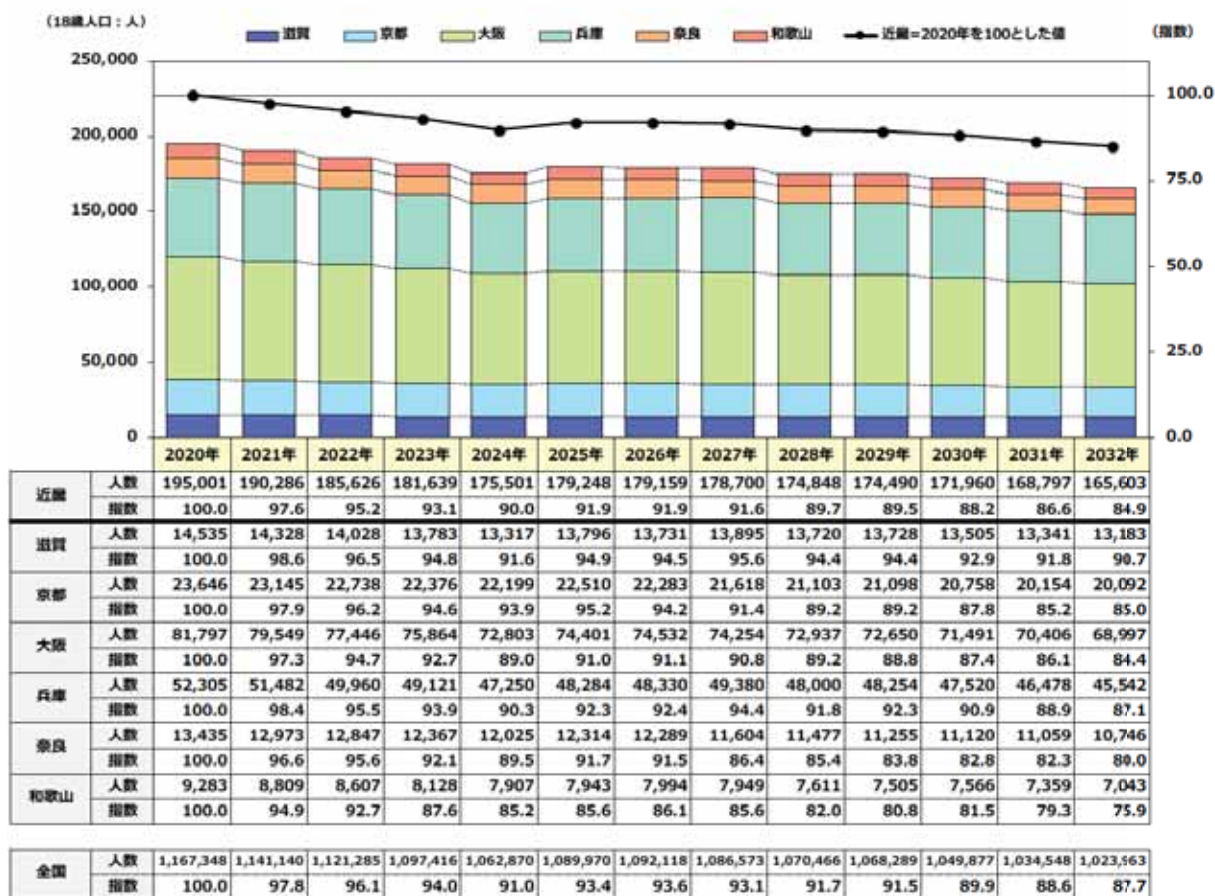
【資料3】

宝塚医療大学の既設学部・学科の入学定員

区分	大学名	学部名	学科名	入学定員
私立	宝塚医療大学	保健医療学部	理学療法学科	70
			鍼灸学科	30
			柔道整復学科	60
		和歌山保健医療学部	リハビリテーション学科	100
			看護学科*	50
合 計				310

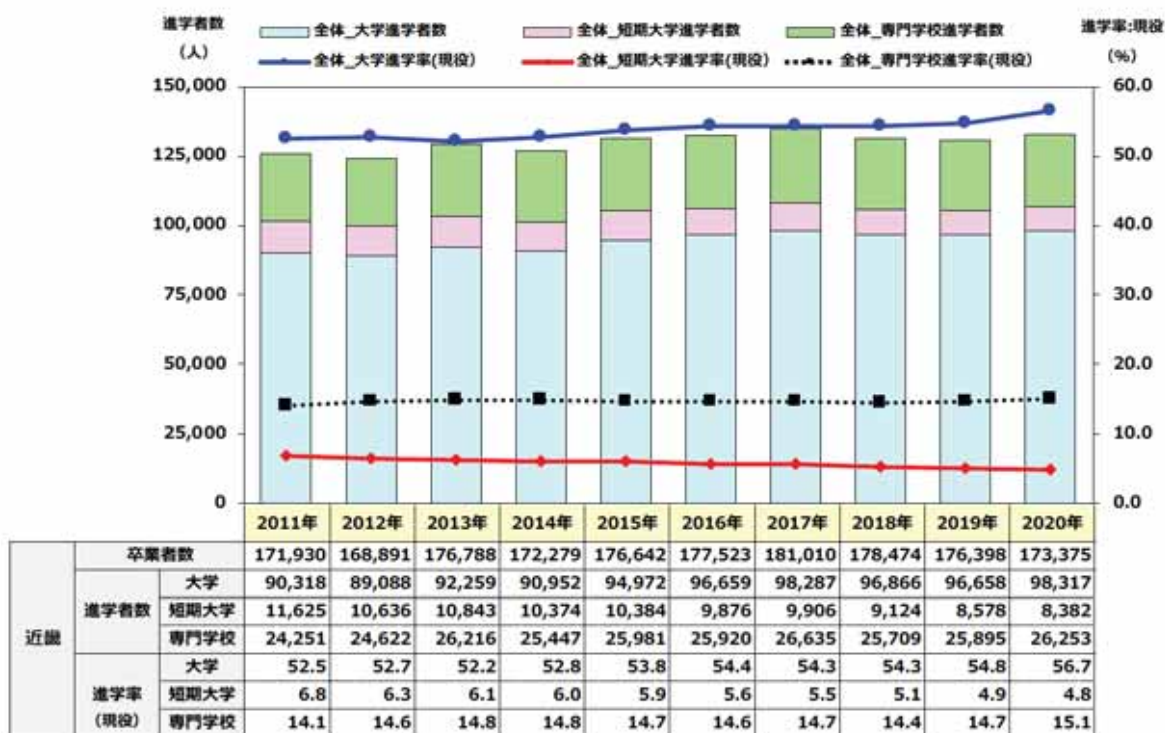
*看護学科は、令和4（2022）年度開設

【資料4】近畿地区の18歳人口予測



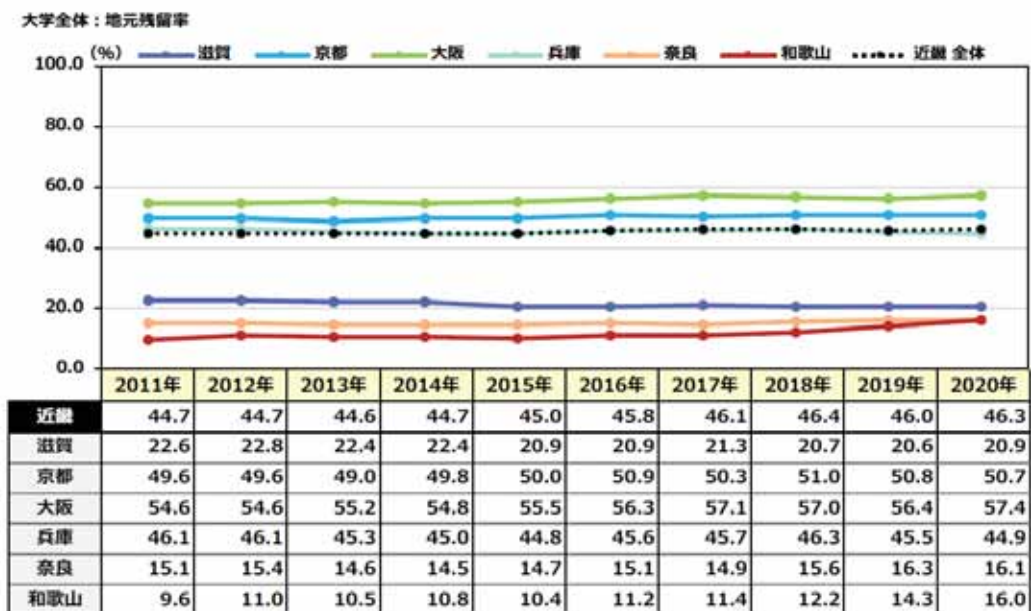
(リクルート進学総研マーケットリポート 2021年4月号から抜粋)

【資料 5】近畿地区の進学者数・進学率の推移



(リクルート進学総研マーケットレポート 2021年4月号から抜粋)

【資料 6】近畿地区の地元残留率推移



(リクルート進学総研マーケットレポート 2021年4月号から抜粋)

【資料 8】 歯科衛生士教育に関する現状調査の結果報告【抜粋】

表 1 入学定員、志願者、入学者数

	入学定員	志願者数	入学者数
令和3年度 実績	9,482	11,550	8,651
前年比	156	1,304	622

表 2 入学定員充足率と志願者倍率 等の年次推移

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
入学定員充足率	97.1%	93.6%	91.8%	89.8%	89.0%	83.6%	85.9%	86.1%	91.2%
入学者が定員に満たない養成校の割合 (%)	35.8%	46.5%	47.1%	48.7%	55.9%	59.9%	63.0%	61.3%	48.3%
志願者倍率	1.32	1.29	1.26	1.21	1.21	1.09	1.09	1.10	1.22
志願者が定員に見たい養成校の割合 (%)	25.2%	29.0%	32.5%	36.1%	37.9%	44.4%	50.0%	45.8%	35.5%

表 3 学校種別の志願者倍率と入学定員充足率

令和3年度	志願倍率 (倍)	入学定員充足率
全 体 (172 校)	1.22	91.2%
専門学校 (144 校)	1.12	90.5%
短期大学 (16 校)	1.42	96.2%
大 学 (12 校)	2.37	91.7%

(一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会 歯科衛生士教育に関する現状調査の結果報告から転記)

【資料 9】 歯科衛生士会からの要望書



公大府歯衛会発第 160 号
令和 4 年 2 月 21 日

学校法人平成医療学園
理事長 岸野 雅方 様

公益社団法人 大阪府歯科衛生士会
会 長 山口 千里



保健医療学部口腔保健学科 設置要望書

歯科界で歯科衛生士不足の声が聞かれるようになって久しく、これまでに多くの歯科衛生士養成機関が設立されてきましたが、この問題は未だ解消されていません。さらに、近年では、高齢者における誤嚥性肺炎予防や周術期管理、高齢者のフレイル予防において、口腔衛生状態や機能の維持・改善の重要性が認識されるようになったことから、歯科界のみならず、医科や保健・福祉の分野からも歯科衛生士の貢献が求められるようになってきました。これらの分野で求められる役割を果たすためには、医療・保健・福祉を担う組織・業務とそこで働く専門職について理解する必要があります。このように、従前よりもはるかに幅広い学びが求められるようになった今日、貴学が4年制の歯科衛生士課程の設置を構想されていることは、本会を始めとする多くの関係者のみならず、サービスを受ける国民も強く希望するところと考えます。

また、貴学は新学科の学生に、倫理観・道徳心、専門的な知識・技術を習得させるのみならず、「研究の素養を身に付けさせる」ことにより、科学的思考や問題解決能力の培うことを目的とされています。その結果として、他職種との連携が円滑になるとともに、エビデンスに基づいた医療・保健・福祉サービスを提供できると考えます。

さらに、口腔保健学科の専門教育が行われます大阪中津キャンパスは、交通の便も良いことから、貴学が計画されています卒業研修や歯科衛生士を対象とした講習会の開催によって、歯科衛生士界の発展にも貢献していただけるものと確信しております。

以上に述べましたように、本会は、貴学の保健医療学部口腔保健学科の設置が認可されますことを、強く要望いたします。



公社兵衛第 182 号

令和 4 年 2 月 28 日

学校法人平成医療学園

理事長 岸野 雅方 様

公益社団法人兵庫県歯科衛生士会

会 長 高橋 千鶴



保健医療学部口腔保健学科 設置要望書

向春の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、全国的な傾向とは言え、医療・保健・福祉等の分野で歯科がその役割を果たすためには歯科衛生士の存在が不可欠であることから、多くの職場から歯科衛生士が求められています。その声を受けて、これまでに歯科衛生士養成機関が数多く設立されましたが、歯科衛生士の就業先がますます拡大し、依然として歯科衛生士不足の状態が続いています。

また、近年は、高齢者における誤嚥性肺炎予防や周術期等管理、高齢者のフレイル・オーラルフレイル予防において、口腔衛生状態や機能の維持・改善の重要性が認識されるようになり、これらの領域においても、歯科衛生士の貢献が広く求められるようになってきました。これらの求めに応じて歯科衛生士がその役割を果たすためには、全身状態の把握や口腔機能の評価法や訓練法などについて習熟することが極めて重要です。このような要望に応えるべく、貴学が 4 年制の歯科衛生士課程の設置を構想されていることは、当会を始めとする、多くの医療・保健・福祉分野関係者のみならず、サービスを受ける国民も強く希望するところと考えます。

また、貴学は新学科の学生に「研究の素養を身に付けさせる」ことを、教育の目的とされています。このことは、エビデンスに基づいた医療・保健・福祉サービスを提供するのみならず、連携する他職種との相互理解を深めることにより、より適切なサービスの提供に繋がると考えられます。

さらに、貴学が計画されています卒業研修や歯科衛生士を対象とした講習会の開催により、歯科衛生士界の発展にも貢献していただけるものと確信しております。

以上に述べましたように、当会は、貴学の保健医療学部口腔保健学科の設置が認可されますことを、強く要望いたします。

【資料10】 第三者機関による入学意向調査結果

宝塚医療大学

「保健医療学部 口腔保健学科（仮称）」

設置に係る学生確保の見通し調査

(設置についての入学意向アンケート調査)

報告書

令和4年2月

株式会社 高等教育総合研究所

目次

1	入学意向アンケート調査の概要	2
2	全質問項目の集計結果（開設）	3
3	集計結果のポイント	7
	<u>学生確保の見通し調査結果 まとめ</u>	<u>12</u>
	<u>添 付 資 料</u>	<u>13</u>

1 入学意向アンケート調査の概要

調 査 目 的	2023（令和5）年4月開設に向け、設置構想中である宝塚医療大学「保健医療学部 口腔保健学科」（仮称／入学定員64名を予定）の志願・入学意向のニーズを大学外の第三者機関によるアンケート調査を用いて、学生確保の見通しを測ることを目的とする。
調 査 時 期	2021（令和3）年12月～2022（令和4）年2月
調 査 対 象	近畿2府4県の高等学校から学力水準、宝塚医療大学への志願動向等を踏まえ、361校へアンケート調査実施を依頼した。
調 査 内 容	選択枝式の10問。 回答者の基本情報（居住地、性別、希望進路）、宝塚医療大学「保健医療学部 口腔保健学科（仮称）」への受験・入学意志等。
有効回答件数	7,698件 ※実施62校内訳は下表の通り

◆実施校の内訳

都道府県	県立	市立	私立	府立	総計
京都府	-	-	5	-	5
滋賀県	1	-	-	-	1
大阪府	-	1	17	7	25
兵庫県	15	-	11	-	26
和歌山県	5	-	-	-	5
総計	21	1	33	7	62

2 全質問項目の集計結果(開設)

※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも 100.0%とは一致しない。

調査名称	回収総件数
宝塚医療大学「保健医療学部 口腔保健学科（仮称）」 入学意向アンケート調査	7,698 件

問1 現在お住まいの都道府県をお答えください(あてはまるもの1つにマーク)。

選択項目		回答数	構成比
1	大阪府	2,305	29.9%
2	兵庫県	3,628	47.1%
3	京都府	516	6.7%
4	奈良県	28	0.4%
5	和歌山県	798	10.4%
6	滋賀県	395	5.1%
7	その他	11	0.1%
	無回答	17	0.2%
合計		7,698	100.0%

問2 性別をお答えください(あてはまるもの1つにマーク)。

選択項目		回答数	構成比
1	女性	4,433	57.6%
2	男性	3,231	42.0%
	無回答	34	0.4%
合計		7,698	100.0%

問3 高校卒業後の希望進路についてお答えください(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	進学	6,468	84.0%
2	就職	573	7.4%
3	現時点では未定	634	8.2%
	無回答	23	0.3%
合計		7,698	100.0%

問4 宝塚医療大学 保健医療学部口腔保健学科(仮称)を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	受験したい	464	6.0%
2	受験しない	7,142	92.8%
	無回答	92	1.2%
合計		7,698	100.0%

問5～問7は、問4にて「受験したい」と回答した 464 人が回答対象である。

問5 宝塚医療大学 保健医療学部口腔保健学科(仮称)に合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	入学したい	71	15.3%
2	併願大学の結果によっては入学したい	393	84.7%
	無回答	0	0.0%
合計		464	100.0%

問6 あなたが受験の際に利用したい入試方法をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

※複数回答のため、回答数は延べ。

※回答率は、回答者 464 人のうち、各項目を挙げた者の割合

選択項目		回答数	回答率
1	一般選抜(一般入試)	199	42.9%
2	学校推薦型選抜	221	47.6%
3	総合型選抜(AO入試)	121	26.1%
	無回答	26	5.6%

問7 宝塚医療大学 保健医療学部口腔保健学科(仮称)を受験したいとされた理由をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

※複数回答のため、回答数は延べ。

※回答率は、回答者 464 人のうち、各項目を挙げた者の割合

選択項目		回答数	回答率
1	歯科衛生士(国家資格)の受験資格が取得できるから	80	17.2%
2	歯科医療について高い専門性と確かな技術が学べるから	36	7.8%
3	新設の学科だから	20	4.3%
4	キャンパスの立地が良く通学に便利そうだから	23	5.0%
5	学科の特色に興味があるから	40	8.6%
6	その他	128	27.6%
	無回答	185	39.9%

問8は、問4にて「受験したい」かつ問5にて「併願大学の結果によっては入学したい」と回答した 393 人が回答の対象である。

問8 併願先として検討中の進路についてお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

※複数回答のため、回答数は延べ。

※回答率は、回答者 393 人のうち、各項目を挙げた者の割合

選択項目		回答数	回答率
1	他大学の『口腔保健(歯科衛生)』学部・学科	28	7.1%
2	他大学の医療系学部・学科	41	10.4%
3	宝塚医療大学の他学部・学科	8	2.0%
4	短期大学・専門学校の『口腔保健(歯科衛生)』学科	22	5.6%
5	短期大学・専門学校の医療系学科	19	4.8%
6	その他	143	36.4%
	無回答	154	39.2%

問9～問10は、問4にて「受験しない」と回答した7,142人が回答対象である。

問9 宝塚医療大学 保健医療学部口腔保健学科(仮称)を「受験しない」と回答した理由をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

※複数回答のため、回答数は延べ。

※回答率は、回答者7,142人のうち、各項目を挙げた者の割合

選択項目		回答数	回答率
1	興味・関心のない分野だから	5,530	77.4%
2	興味・関心がある分野だが、他大学・短期大学・専門学校への進学を希望しているから	633	8.9%
3	興味・関心がある分野だが、新設学科への進学は不安だから	79	1.1%
4	通学が不便そうだから	401	5.6%
5	学費が高いから	327	4.6%
6	卒業後、進学を考えていないから	461	6.5%
7	その他	394	5.5%
	無回答	123	1.7%

問10 以下は宝塚医療大学で学べる学問分野です。あなたが受験、入学したい学部学科はありますか。(最もよくあてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	保健医療学部 理学療法学科(理学療法士養成)	404	5.7%
2	保健医療学部 柔道整復学科(柔道整復師養成)	136	1.9%
3	保健医療学部 鍼灸学科(はり師・きゅう師養成)	107	1.5%
4	和歌山保健医療学部 リハビリテーション学科(理学療法士・作業療法士養成)	220	3.1%
5	和歌山保健医療学部 看護学科(看護師養成)※令和4年4月開設	431	6.0%
6	受験、入学したい学部はない	5,728	80.2%
	無回答	116	1.6%
合計		7,142	100.0%

3 集計結果のポイント

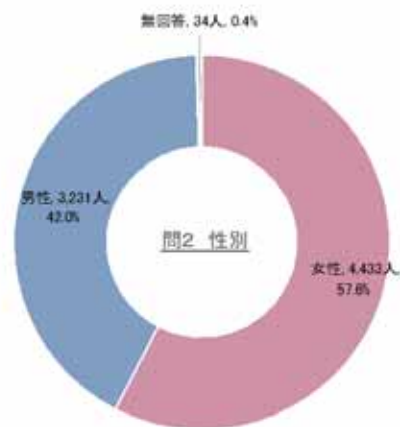
※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも 100.0%とは一致しない。

① 回答者の基本情報

回答者の所在地で一番多かったのは、「兵庫県」で 3,628 人 (47.1%) であった。次いで「大阪府」が 2,305 人 (29.9%)、「和歌山県」が 798 人 (10.4%) の順であった。

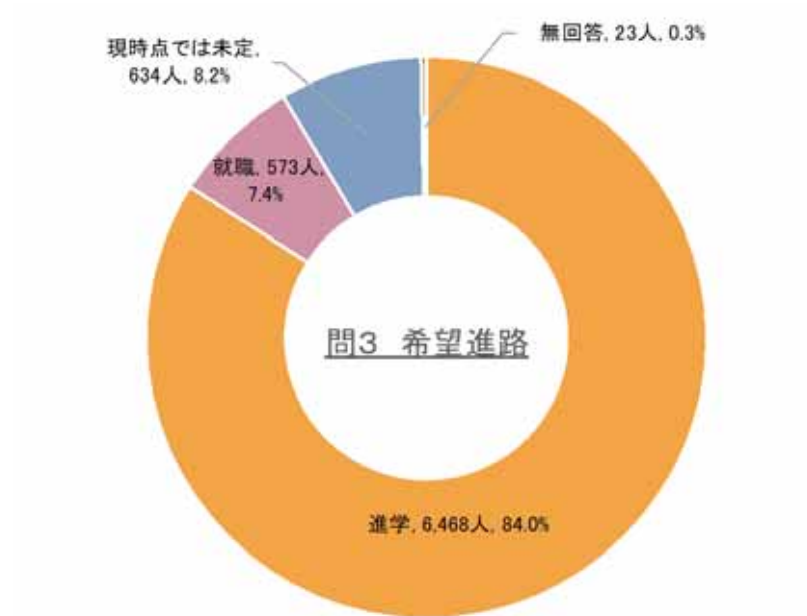
「保健医療学部 口腔保健学科 (仮称)」は、大阪府を開設場所として予定しており、アンケート対象として適切であると言える。

また、「女性」が 4,433 人 (57.6%) で、「男性」が 3,231 人 (42.0%) であった。



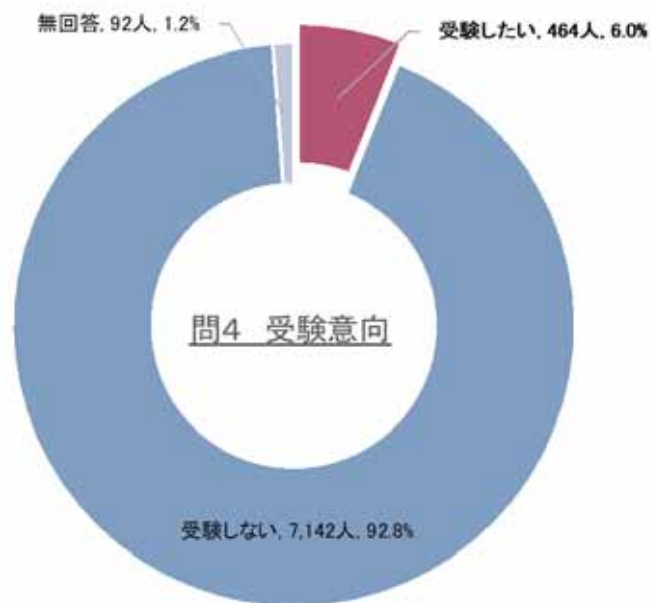
② 8割以上の学生が「進学」を希望

高校卒業後の希望進路について質問したところ、一番多かったのは「進学」が6,468人（84.0%）、次いで「現時点では未定」が634人（8.2%）、「就職」が573人（7.4%）であった。



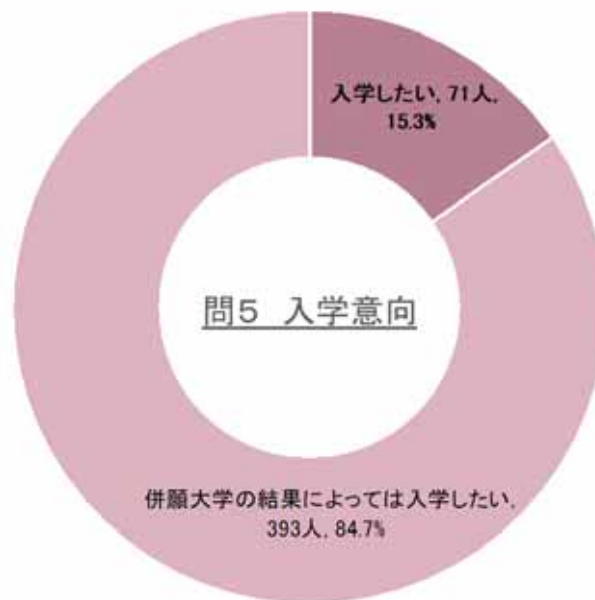
③ 入学定員の 7.25 倍の 464 人が受験意志を示す

問4で「保健医療学部 口腔保健学科（仮称）」の受験意向について質問したところ、「受験したい」と回答したのは464人（6.0%）であった。「保健医療学部 口腔保健学科（仮称）」は入学定員を64名としており、約7.3倍の受験意志を持つ回答結果となった。



④ 「保健医療学部 口腔保健学科(仮称)」に 71 人が強い入学意志を示す

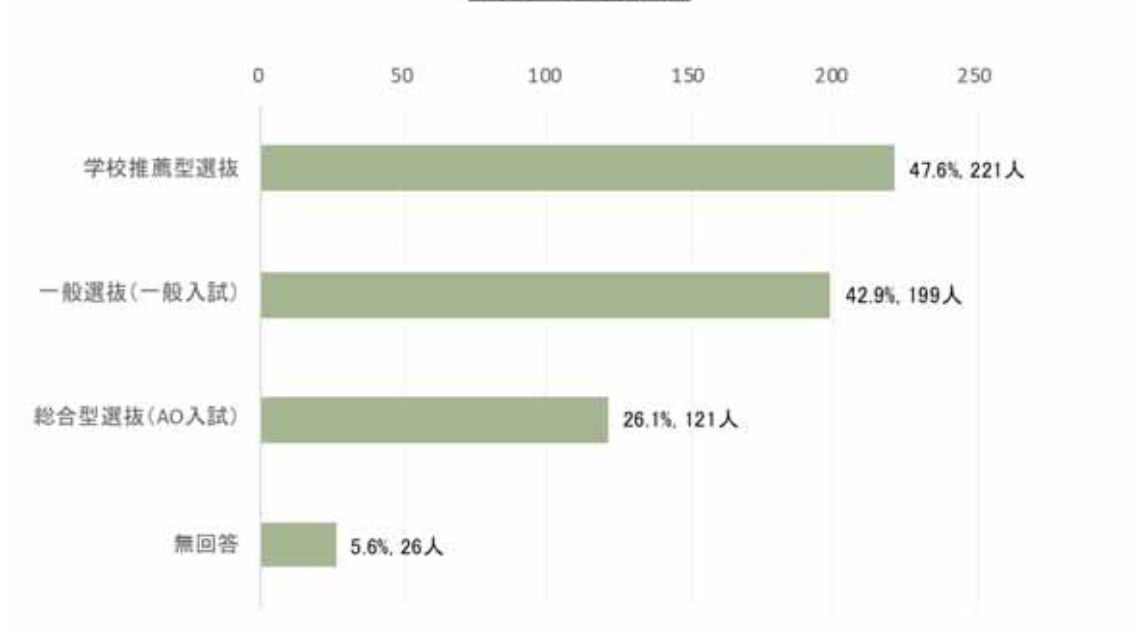
問4で「保健医療学部 口腔保健学科（仮称）」を「受験したい」と回答した回答者に対し、さらに問5で入学意志について質問した。その結果、「入学したい」と回答したのは71人（15.3%）、「併願大学の結果によっては入学したい」と回答したのは393人（84.7%）であり、強い入学意志を持つと考えられる「入学したい」の回答のみでも、予定する入学定員（64名）を上回る結果となった。



⑤ 回答者の利用したい入試方法について

問4で「保健医療学部 口腔保健学科（仮称）」を「受験したい」と回答した回答者に対し、問6で利用したい入試方法について質問したところ、一番多かったのが「学校推薦型選抜」で221人（47.6%）、次いで「一般選抜（一般入試）」が199人（42.9%）、「総合型選抜（AO入試）」121人（26.1%）の順であった。（複数回答の結果）

問6 入試方法



学生確保の見通し調査結果 まとめ

2023（令和5）年4月開設に向け、設置構想中の宝塚医療大学「保健医療学部 口腔保健学科（仮称）」の学生確保の見通しを測るため、近畿2府4県の高等学校から学力水準、宝塚医療大学への志願動向を踏まえ、アンケート調査を依頼し、62校の合計7,698人からアンケートの回答を得た。

問3で希望進路を「進学」と回答し、「保健医療学部 口腔保健学科（仮称）」を「受験したい」と回答したのは461人であった。さらに、その461人に対し、入学意志を質問したところ、「入学したい」と回答したのは71人であった。「入学したい」という強い入学意志を示した者だけでも、予定する入学定員（64名）を上回る結果となった。

Q3「進学」	Q5「受験したい」	Q6「入学したい」	入学定員
6,468 人	461 人	71 人	64 名

また、本調査は設置予定地である大阪府を中心に、近畿2府4県の高等学校に依頼をしているが、回答者の居住地の多くを占める大阪府や兵庫県の高校の調査実施率は、大阪府が13.7%（依頼182校中25校実施）、兵庫県が28.3%（依頼92校中26校実施）である。

上記回答結果および前述の実施状況を踏まえると、調査を実施していない高校にも入学意志を持つ者は潜在する可能性があることを勘案すると、今後の積極的な募集活動を前提として、2023（令和5）年4月に設置構想中である宝塚医療大学「保健医療学部 口腔保健学科（仮称）」の学生確保の見通しについて問題がないと考えられる。

添 付 資 料

- 資料1 アンケート調査概要
- 資料2 入学意向アンケート調査用紙

資料1 アンケート調査概要

宝塚医療大学 保健医療学部 口腔保健学科 仮称

令和5（2023）年4月開設に向け、設置構想中

※記載されている内容は構想中のものであり、変更となる可能性があります

概 要	交通アクセス																																																	
<p>開設時期 令和5（2023）年4月</p> <p>開設場所 大塚中津キャンパス（大塚市北区中津6-9-38） 宝塚キャンパス（宝塚市花屋敷緑が丘1） <small>※1年次は宝塚キャンパス、2年次以降は大塚中津キャンパス</small></p> <p>入学定員 64名</p> <p>修業年限 4年</p> <p>取得学位 学士（口腔保健学）</p> <p>取得可能な資格 歯科衛生士国家試験受験資格</p>	 <p style="text-align: right; font-size: x-small;">（スケールは任意）</p>																																																	
<p>養成する人材像</p> <p>保健医療学部 口腔保健学科（仮称）では、豊かな人間性と教養、高い倫理観、コミュニケーション力、論理的思考力を備えた医療・保健・福祉分野で活躍できる歯科衛生士を養成します。</p>																																																		
<p>歯科衛生士とは</p> <p>Q) <u>歯科衛生士とは</u></p> <p>A) 歯科衛生士とは、歯科医師の予防及び口腔衛生の向上を図る（歯科衛生士法第1条）ことを目的として、人々の歯・口腔の健康づくりをサポートする国家資格の専門職です。</p> <p> <u>歯科診療所以外の業務</u>・・・</p> <p>病院の歯科では、医師と連携し手術前後にお口の管理を行い、治療の予防や早期発見に貢献します。</p> <p>保健所口腔保健センターでは、住民のお口の健康のための企画や相談に携わります。企業では、歯科専門職として商業案内や営業、セミナーの企画・運営を行います。介護施設での口腔ケアや、歯科衛生士養成校での教育も活動の場です。</p>	<p>学科の特色</p> <p><u>充実した教員陣による最新の歯科衛生士教育</u> 経験豊富な本学教員と非常勤講師（国立大学教員等）による最新の歯科衛生士教育を受けることができます。</p> <p><u>COVID-19にも対応した教育システム</u> 最新のオンラインシステムを使用し、感染症流行時にも充実した授業を受けることができます。</p> <p><u>充実した臨床実習施設</u> 歯科医師会・歯科衛生士会の協力を得て、豊富で充実した施設で臨床実習ができます。</p> <p><u>幅広い就職先を考慮した就職支援</u> 歯科医院だけでなく、病院・介護施設・保健所（口腔保健センター）・医療系企業・歯科衛生士養成機関で働くために必要な知識・技術を身につけることができます。</p> <p><u>他学科との連携によるチーム医療教育</u> 看護学科（令和4年4月開設）、理学療法学科、柔道整復学科、鍼灸学科、介護福祉学科の学生と学び、チーム医療の芽を育むために必要な知識・技術を身につけることができます。</p> <p><u>学びをサポートする本学独自の奨学金制度</u> 本学部の学生は、日本学生支援機構の奨学金、修学支援奨学金に加えて本学独自の成績優秀奨学金、下宿学生支援奨学金等を利用できます。</p>																																																	
<p>卒業後の進路 保健医療学部口腔保健学科（仮称）を卒業した学生は、以下のような進路での活躍が期待されます</p> <p>◆歯科診療所・クリニック ◆歯科・口腔外科のある病院 ◆保健所・口腔保健センター ◆介護施設（老人ホーム等）</p> <p>◆医療・歯科医療関連企業 ◆歯科衛生士養成機関 ◆大学院への進学 ……など</p>																																																		
<p>学 納 金 他大学を含む （円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">大学名 学部・学科名</th> <th style="width: 10%;">入学金</th> <th style="width: 10%;">授業料</th> <th style="width: 10%;">施設 管理費</th> <th style="width: 10%;">実習費</th> <th style="width: 10%;">その他</th> <th style="width: 10%;">初年度 納入金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宝塚医療大学 保健医療学部 口腔保健学科（仮称）</td> <td>300,000</td> <td>700,000</td> <td>200,000</td> <td>300,000</td> <td>—</td> <td>1,500,000</td> </tr> <tr> <td>梅花女子大学 看護保健学部 口腔保健学科</td> <td>220,000</td> <td>750,000</td> <td>300,000</td> <td>—</td> <td>300,000</td> <td>1,570,000</td> </tr> <tr> <td>大塚医科大学 医療保健学部 口腔保健学科</td> <td>260,000</td> <td>840,000</td> <td>—</td> <td>480,000</td> <td>—</td> <td>1,580,000</td> </tr> <tr> <td>神戸可成大学 保健科学部 口腔保健学科</td> <td>260,000</td> <td>800,000</td> <td>—</td> <td>100,000</td> <td>300,000</td> <td>1,460,000</td> </tr> <tr> <td>関西女子短期大学 歯科衛生学科</td> <td>300,000</td> <td>830,000</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>250,000</td> <td>1,380,000</td> </tr> <tr> <td>大牟田女子短期大学 歯科衛生学科</td> <td>200,000</td> <td>750,000</td> <td>240,000</td> <td>200,000</td> <td>—</td> <td>1,390,000</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">宝塚医療大学保健医療学部口腔保健学科（仮称）の学費は予定のものです。 他大学の学費は各大学ホームページ掲載情報（令和3年10月時点） ※いずれも納金費を含みません。また、実習等に併用費用・経費が別途必要な場合があります。</p>		大学名 学部・学科名	入学金	授業料	施設 管理費	実習費	その他	初年度 納入金	宝塚医療大学 保健医療学部 口腔保健学科（仮称）	300,000	700,000	200,000	300,000	—	1,500,000	梅花女子大学 看護保健学部 口腔保健学科	220,000	750,000	300,000	—	300,000	1,570,000	大塚医科大学 医療保健学部 口腔保健学科	260,000	840,000	—	480,000	—	1,580,000	神戸可成大学 保健科学部 口腔保健学科	260,000	800,000	—	100,000	300,000	1,460,000	関西女子短期大学 歯科衛生学科	300,000	830,000	—	—	250,000	1,380,000	大牟田女子短期大学 歯科衛生学科	200,000	750,000	240,000	200,000	—	1,390,000
大学名 学部・学科名	入学金	授業料	施設 管理費	実習費	その他	初年度 納入金																																												
宝塚医療大学 保健医療学部 口腔保健学科（仮称）	300,000	700,000	200,000	300,000	—	1,500,000																																												
梅花女子大学 看護保健学部 口腔保健学科	220,000	750,000	300,000	—	300,000	1,570,000																																												
大塚医科大学 医療保健学部 口腔保健学科	260,000	840,000	—	480,000	—	1,580,000																																												
神戸可成大学 保健科学部 口腔保健学科	260,000	800,000	—	100,000	300,000	1,460,000																																												
関西女子短期大学 歯科衛生学科	300,000	830,000	—	—	250,000	1,380,000																																												
大牟田女子短期大学 歯科衛生学科	200,000	750,000	240,000	200,000	—	1,390,000																																												

資料2 入学意向アンケート調査用紙



宝塚医療大学 保健医療学部口腔保健学科（仮称）

2023年4月開設に向け設置構想中



入学意向アンケート調査

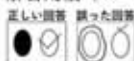
対象：2021年度現在高校2年生のみなさん

宝塚医療大学（兵庫県宝塚市）はより高度で先進的な専門知識を持つ歯科衛生士を養成すべく、2023年4月に「保健医療学部口腔保健学科（仮称）：男女共学」の設置を構想しています。本学では、このアンケートを通して、同年度に大学進学を避える現・高校2年生のみなさんからご意見をお聞きし、新学科開設の構想に少しでも反映したいと考えています。ご回答いただいたみなさんから得た情報、本学科の設置に係る統計資料としてのみ活用いたします。

※このアンケート調査は、宝塚医療大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

【アンケート記入にあたっての注意事項】

- ・記入は必ず黒鉛のシャープペンシル、または黒鉛筆を使用してください。
- ・訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
- ・解答用紙（マークシート）を汚したり、折り曲げたりしないでください。



正しい回答のように丁寧に塗りつぶしてください。
誤った回答のような場合、正確に読み込めず判断できない場合があります。

問1 現在お住まいの都道府県をお答えください（あてはまるもの1つにマーク）。

- 大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県 滋賀県 その他

問2 性別をお答えください（あてはまるもの1つにマーク）。

- 女性 男性

問3 高校卒業後の希望進路についてお答えください（あてはまるもの1つにマーク）

- 進学 就職 現時点では未定

以下の設問は、宝塚医療大学保健医療学部口腔保健学科（仮称）の概要をご覧の上、お答えください。

問4 宝塚医療大学 保健医療学部口腔保健学科（仮称）を受験したいと思いませんか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 受験したい→問5、問6、問7、問8にお答えください。
 受験しない→問9、問10にお答えください。

問5 宝塚医療大学 保健医療学部口腔保健学科（仮称）に合格した場合、入学したいと思いませんか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 入学したい 併願大学の結果によっては入学したい

問6 あなたが受験の際に利用したい入試方法をお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

- 一般選抜（一般入試） 学校推薦型選抜 総合型選抜（AO入試）





問7 宝塚医療大学 保健医療学部口腔保健学科（仮称）を受験したいとされた理由をお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

- | | |
|--|---|
| <input type="radio"/> 歯科衛生士（国家資格）の受験資格が取得できるから | <input type="radio"/> 歯科医療について高い専門性と確かな技術が学べるから |
| <input type="radio"/> 新設の学科だから | <input type="radio"/> キャンパスの立地が良く通学に便利そうだから |
| <input type="radio"/> 学科の特色に興味があるから | <input type="radio"/> その他 |

問8は問5で「併願大学の結果によっては入学したい」と回答した方のみお答えください。

問8 併願先として検討中の進路についてお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

- | | |
|---|--|
| <input type="radio"/> 他大学の『口腔保健（歯科衛生）』学部・学科 | <input type="radio"/> 他大学の医療系学部・学科 |
| <input type="radio"/> 宝塚医療大学の他学部・学科 | <input type="radio"/> 短期大学・専門学校の『口腔保健（歯科衛生）』学科 |
| <input type="radio"/> 短期大学・専門学校の医療系学科 | <input type="radio"/> その他 |

以下の設問は問4で「受験しない」と回答した方のみお答えください。

問9 宝塚医療大学 保健医療学部口腔保健学科（仮称）を「受験しない」と回答した理由をお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

- 興味・関心のない分野だから
- 興味・関心がある分野だが、他大学・短期大学・専門学校への進学を希望しているから
- 興味・関心がある分野だが、新設学科への進学は不安だから
- 通学が不便そうだから
- 学費が高いから
- 卒業後、進学を考えていないから
- その他

問10 以下は宝塚医療大学で学べる学問分野です。あなたが受験、入学したい学部学科はありますか。（最もよくあてはまるもの1つにマーク）

- 保健医療学部 理学療法学科（理学療法士養成）
- 保健医療学部 柔道整復学科（柔道整復師養成）
- 保健医療学部 鍼灸学科（はり師・きゅう師養成）
- 和歌山保健医療学部 リハビリテーション学科（理学療法士・作業療法士養成）
- 和歌山保健医療学部 看護学科（看護師養成）※令和4年4月開設
- 受験、入学したい学部はない



【資料 11】 衛生行政報告例

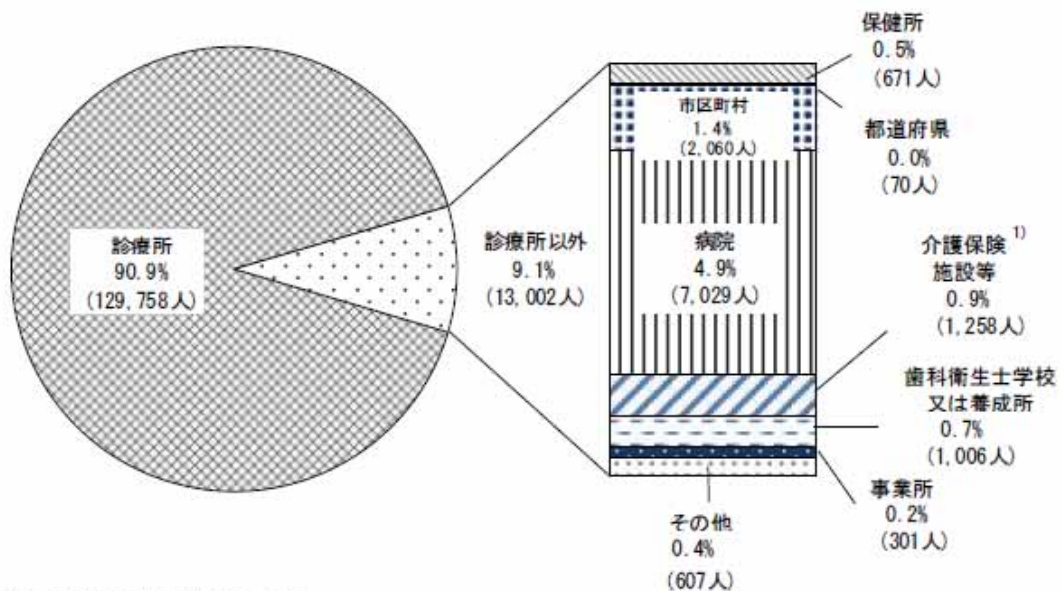
表 1 就業歯科衛生士・歯科技工士及び歯科技工所数の年次推移

(単位：人、か所)

	平成22年	24年	26年	28年	30年	令和2年	各年末現在	
	(2010)	('12)	('14)	('16)	('18)	('20)	対平成30年	増減率(%)
歯科衛生士	103 180	108 123	116 299	123 831	132 629	142 760	10 131	7.6
歯科技工士	35 413	34 613	34 495	34 640	34 468	34 826	358	1.0
歯科技工所	¹⁾ 19 443	19 706	20 166	20 906	21 004	20 879	△ 125	△ 0.6

注：1)平成22年の「歯科技工所」は、東日本大震災の影響により、宮城県が含まれていない。

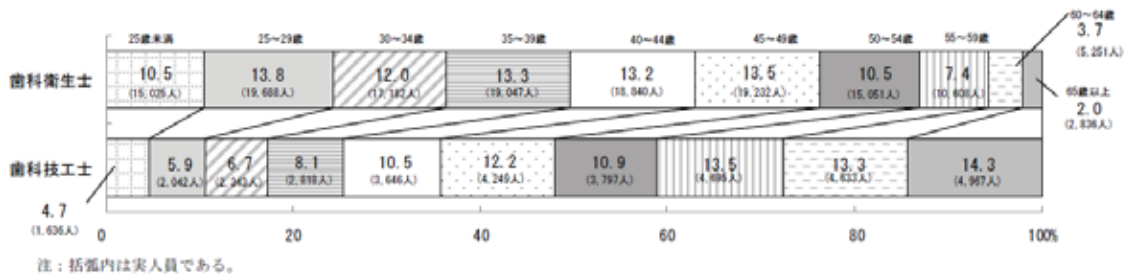
表 2 就業別場所別にみた就業歯科衛生士（令和 2（2020）年度末現在）



注：括弧内は実人員である。

1) 「介護保険施設等」とは、「介護老人保健施設」「介護医療院」「指定介護老人福祉施設」「居宅介護支援事業所」等をいう。

表 3 年齢階級別にみた就業歯科衛生指数の年次推移（令和 2（2020）年度末現在）



注：括弧内は実人員である。

「衛生行政報告例」から抜粋

【資料 12】

都道府県－指定都市・特別区・中核市（再掲）別にみた施設数及び人口10万対施設数

	R1 (2019)		H30 (2018)		H29 (2017)	
	施設数	人口10万対施設数	施設数	人口10万対施設数	施設数	人口10万対施設数
	歯科診療所	歯科診療所	歯科診療所	歯科診療所	歯科診療所	歯科診療所
全 国	68 500	54.3	68 613	54.3	68 609	54.1
京 都	1 299	50.3	1 306	50.4	1 308	50.3
大 阪	5 517	62.6	5 518	62.6	5 509	62.4
兵 庫	2 986	54.6	2 974	54.2	2 981	54.2
奈 良	681	51.2	690	51.5	690	51.2
和 歌 山	527	57.0	533	57.0	540	57.1

(医療施設調査・病院報告から抜粋)

【資料 13】 歯科衛生士国家試験結果（過去5年間）

歯科衛生士国家試験受験者数・合格者数・合格率

開催回（年）	受験者数	合格者数	合格率
第30回（令和3年）	7,099名	6,624名	93.30%
第29回（令和2年）	7,216名	6,808名	94.30%
第28回（平成31年）	7,207名	6,934名	96.20%
第27回（平成30年）	7,374名	7,087名	96.10%
第26回（平成29年）	7,218名	6,737名	93.30%
第25回（平成28年）	7,233名	6,944名	96.00%

【資料14】 第三者機関による人材需要の見通し調査結果

宝塚医療大学

「保健医療学部 口腔保健学科（仮称）」

設置に係る人材需要の見通し調査

(設置についての人材需要アンケート調査)

報告書

令和4年2月

株式会社 高等教育総合研究所

目次

1 人材需要アンケート調査の概要	2
2 全質問項目の集計結果（開設）	3
3 集計結果のポイント	7
<u>人材需要の見通し調査結果 まとめ</u>	<u>13</u>
<u>添付資料</u>	<u>14</u>

1 人材需要アンケート調査の概要

調査目的	2023（令和5）年4月開設に向け、設置構想中である宝塚医療大学「保健医療学部 口腔保健学科」（仮称／入学定員64名を予定）の人材需要のニーズを第三者機関によるアンケート調査を用いて測ることを目的とする。
調査時期	2021（令和3）年12月～2022（令和4）年2月
調査対象	京阪神を主たる対象として、宝塚医療大学「保健医療学部 口腔保健学科（仮称）」が卒業後に歯科衛生士としての採用を想定する病院、歯科診療所、保健センター、介護福祉施設等の751件の機関・施設に調査を依頼した。
調査内容	選択肢式の10問。一部記述式。 回答機関・施設の基本情報（種別、所在地）、歯科衛生士について（勤務人数、採用状況、充足状況、新卒採用）、宝塚医療大学「保健医療学部 口腔保健学科（仮称）」の卒業生の採用意向等。
有効回答件数	140件

2 全質問項目の集計結果(開設)

※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも 100.0%とは一致しない。

調査名称	回収総件数
宝塚医療大学「保健医療学部 口腔保健学科（仮称）」 人材需要アンケート調査	140 件

問1 貴機関・貴施設についてお答えください。(最もあてはまるもの1つにマーク)

選択項目	回答数	構成比
1 歯科診療所・クリニック	114	81.4%
2 病院	8	5.7%
3 行政(保健所、市区町村等)	2	1.4%
4 医療関連企業	7	5.0%
5 介護保険施設	6	4.3%
6 その他	2	1.4%
無回答	1	0.7%
合計	140	100.0%

問2 貴機関・貴施設の所在地をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目	回答数	構成比
1 大阪府	70	50.0%
2 兵庫県	33	23.6%
3 京都府	21	15.0%
4 奈良県	5	3.6%
5 和歌山県	4	2.9%
6 その他	6	4.3%
無回答	1	0.7%
合計	140	100.0%

問3 貴機関・貴施設において現在勤務されている歯科衛生士の人数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	1名	16	11.4%
2	2～4名	54	38.6%
3	5～9名	39	27.9%
4	10～19名	8	5.7%
5	20名以上	6	4.3%
6	歯科衛生士は勤務していない	16	11.4%
	無回答	1	0.7%
合計		140	100.0%

問4 貴機関・貴施設での歯科衛生士の採用状況についてお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	毎年定期的に採用している	25	17.9%
2	毎年ではないが定期的に採用している	23	16.4%
3	欠員が出た場合に補充採用している	67	47.9%
4	現在は採用していない	22	15.7%
5	わからない	2	1.4%
	無回答	1	0.7%
合計		140	100.0%

問5 貴機関・貴施設における歯科衛生士の充足状況についてお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	大きく不足している	19	13.6%
2	やや不足している	67	47.9%
3	適度に充足している	46	32.9%
4	過剰である	1	0.7%
	無回答	7	5.0%
合計		140	100.0%

問6 今後の歯科衛生士の新卒採用についてお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	4年制大学の卒業生を中心に採用していきたい	7	5.0%
2	短期大学の卒業生を中心に採用していきたい	2	1.4%
3	専門学校卒業生を中心に採用していきたい	2	1.4%
4	大学、短期大学、専門学校の卒業生をバランスよく採用していきたい	9	6.4%
5	学校種には特にこだわらない	110	78.6%
6	その他	9	6.4%
	無回答	1	0.7%
合計		140	100.0%

問7 宝塚医療大学「保健医療学部口腔保健学科(仮称)」は男女共学での開設を構想しています。『男性歯科衛生士』の就職先として適切と考えられるものを選んでください。(あてはまるものすべてにマーク)

※複数回答のため、回答数は延べ。

※回答率は、回答機関・施設 140 件のうち、各項目を挙げた者の割合

選択項目		回答数	構成比
1	歯科診療所・クリニック	62	44.3%
2	病院	100	71.4%
3	行政(保健所、市区町村等)	79	56.4%
4	医療関連企業	79	56.4%
5	介護保険施設	86	61.4%
6	その他	4	2.9%
	無回答	2	1.4%

問8 貴機関・貴施設において将来、宝塚医療大学「保健医療学部口腔保健学科(仮称)」を卒業した歯科衛生士を、採用したいと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	採用したい	95	67.9%
2	採用しない	6	4.3%
3	わからない	38	27.1%
	無回答	1	0.7%
合計		140	100.0%

問9は、問8にて「採用したい」と回答した者が回答対象である。

問9 問8で「採用したい」と回答された場合、よろしければ採用可能と思われる人数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	1人	32	33.7%
2	2人	22	23.2%
3	3人	2	2.1%
4	4人	1	1.1%
5	5人以上	2	2.1%
6	人数は未定だが最低1人	36	37.9%
	無回答	0	0.0%
合計		95	100.0%

3 集計結果のポイント

※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも 100.0%とは一致しない。

① 回答機関・施設の基本情報

回答機関・施設の種別で一番多かったのは、「歯科診療所・クリニック」で 114 件（81.4%）、次いで「病院」が 8 件（5.7%）、「医療関連企業」が 7 件（5.0%）の順であった。

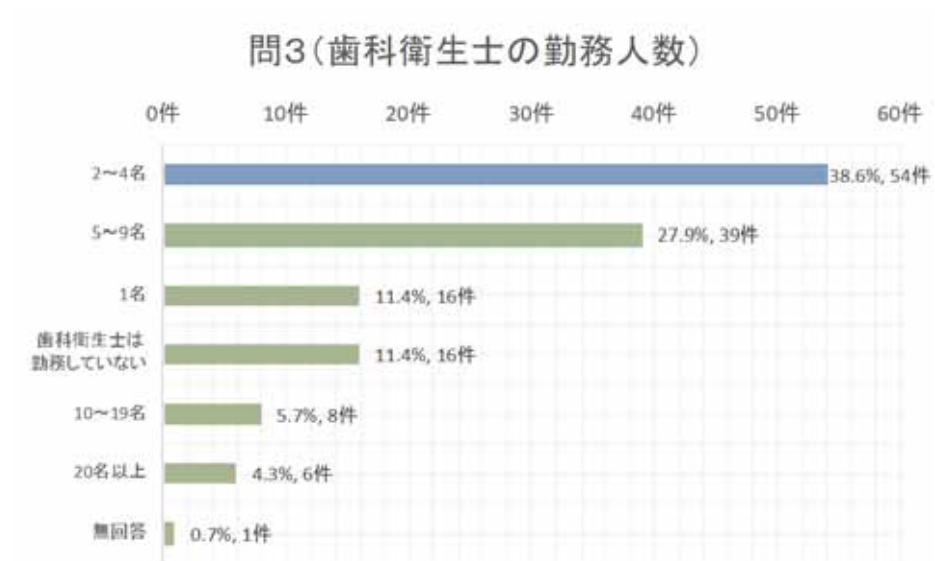
また、所在地で一番多かったのは「大阪府」が 70 件（60.0%）、次いで「兵庫県」が 33 件（23.6%）、「京都府」が 21 件（15.0%）の順であった。



	大阪府(70件,60.0%)		兵庫県(33件,23.6%)		京都府(21件,15.0%)		奈良県(5件,3.6%)		和歌山県(4件,2.9%)		その他(6件,4.2%)		無回答(1件,0.7%)		計(140件,100.0%)	
	回答件数	構成比	回答件数	構成比	回答件数	構成比	回答件数	構成比	回答件数	構成比	回答件数	構成比	回答件数	構成比	回答件数	構成比
歯科診療所・クリニック	59	84.3%	29	87.9%	20	95.2%	2	40.0%	4	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	114	81.4%
病院	0	0.0%	2	6.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.4%
行政(保健所, 市区町村等)	1	1.4%	1	3.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.4%
医療関連企業	2	2.9%	0	0.0%	1	4.8%	0	0.0%	0	0.0%	4	66.7%	0	0.0%	7	5.0%
介護保険施設	2	2.9%	1	3.0%	0	0.0%	2	60.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	2.9%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	33.3%	0	0.0%	2	1.4%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	1	0.7%
計	70	100.0%	33	100.0%	21	100.0%	5	100.0%	4	100.0%	6	100.0%	1	100.0%	140	100.0%

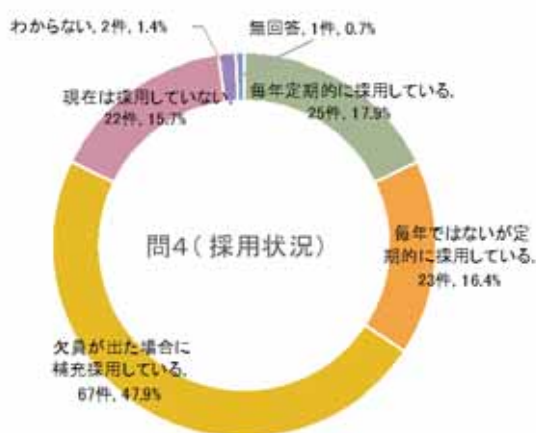
② 現在勤務している歯科衛生士の人数は「2～4名」が3割以上

現在勤務されている歯科衛生士の人数について質問したところ、一番多かったのは「2～4名」で54件（38.6%）、次いで「5～9名」で39件（27.9%）、「1名」が16件（11.4%）、「歯科衛生士は勤務していない」が16件（11.4%）の順であった。



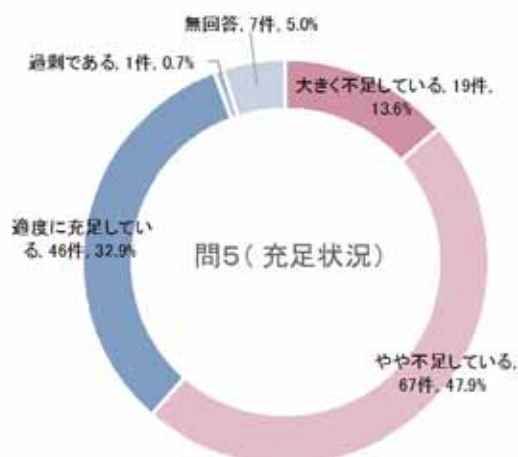
③ 8割以上の機関・施設が、歯科衛生士の採用活動を行なっている

歯科衛生士の採用状況について質問したところ、一番多かったのは「欠員が出た場合に補充採用している」で67件（47.9%）であった。次いで、「毎年定期的に採用している」が25件（17.9%）、「毎年ではないが定期的に採用している」が23件（16.4%）の順であった。以上の結果から、歯科衛生士の採用活動を行なっている事業所は、115件（82.2%）であった。



④ 6割以上の機関・施設が、歯科衛生士が「不足している」と回答

歯科衛生士の充足状況について質問したところ、「大きく不足している」と回答したのは19件（13.6%）、「やや不足している」が67件（47.9%）となっており、歯科衛生士が不足している状況にあると回答したのは、合計86件（61.5%）で6割以上であった。



⑤ 今後の歯科衛生士の新卒採用

今後の歯科衛生士の新卒採用について、一番多かったのは「学校種には特にこだわらない」が110件(78.6%)であった。次いで、「大学、短期大学、専門学校の卒業生をバランスよく採用していきたい」が9件(6.4%)、「その他」が9件(6.4%)件、「4年制大学の卒業生を中心に採用していきたい」が7件(5.0%)の順であった。

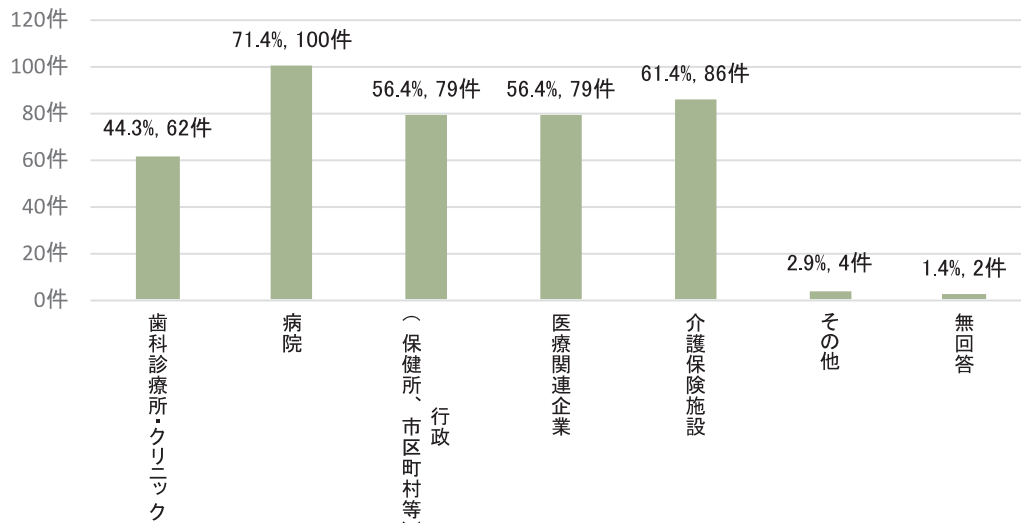
選択項目		回答数	構成比
1	4年制大学の卒業生を中心に採用していきたい	7件	5.0%
2	短期大学の卒業生を中心に採用していきたい	2件	1.4%
3	専門学校の卒業生を中心に採用していきたい	2件	1.4%
4	大学、短期大学、専門学校の卒業生をバランスよく採用していきたい	9件	6.4%
5	学校種には特にこだわらない	110件	78.6%
6	その他	9件	6.4%
	無回答	1件	0.7%
合計		140件	100.0%

⑥ 男性歯科衛生士の就職先に4種の機関・施設が適切であるとの回答が半数以上を超える

「保健医療学部 口腔保健学科（仮称）」は男女共学での開設を構想している。『男性歯科衛生士』の就職先として適切と考えられるものについて質問したところ、「病院」が100件（71.4%）で最も多く、次いで「介護保険施設」が86件（61.4%）、「行政（保健所・市区町村等）」と「医療関連企業」が79件（56.4%）であった。

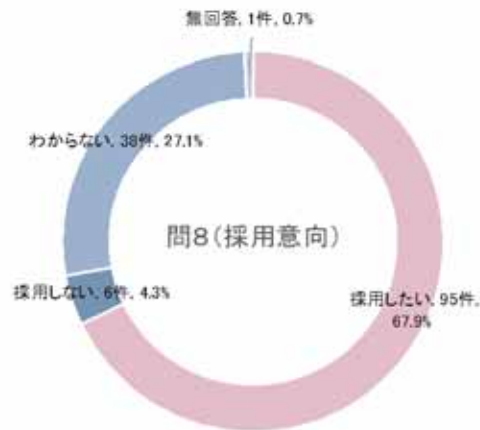
以上の4種の機関・施設が「男性歯科衛生士」の就職先として適切であると半数以上が回答する結果であった。（複数の結果）

問7（男性歯科衛生士の就職先）



⑦ 6割以上の機関・施設が「保健医療学部 口腔保健学科(仮称)」の卒業生の採用意志を示す

「保健医療学部 口腔保健学科(仮称)」を卒業した歯科衛生士の採用意向について質問したところ、「採用したい」と回答したのは67.9%にあたる95件であった。



⑧ 「保健医療学部 口腔保健学科(仮称)」を卒業した歯科衛生士の採用可能人数は、132人

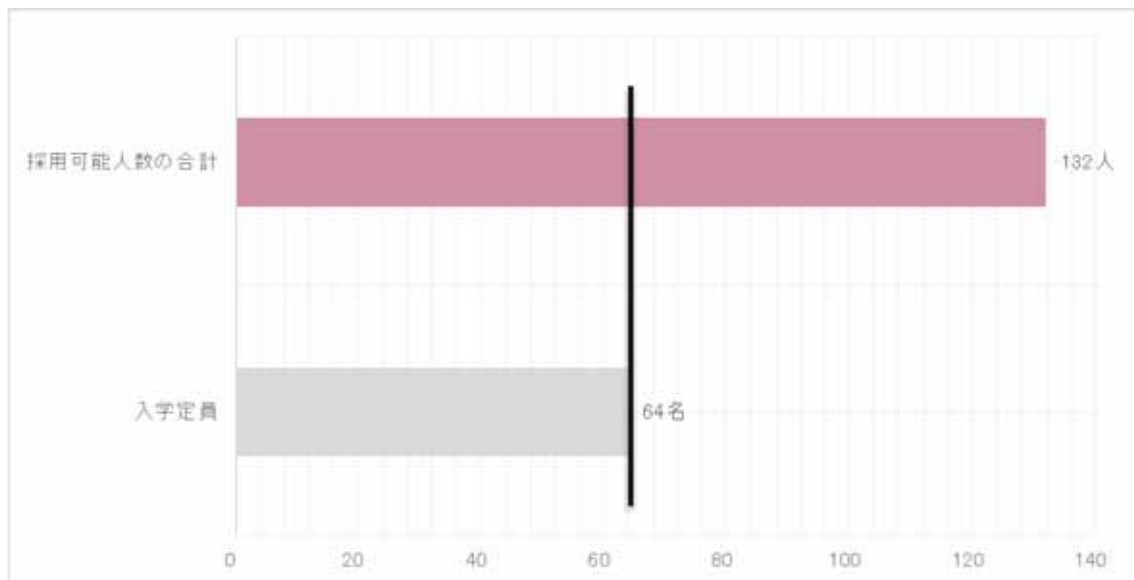
「保健医療学部 口腔保健学科(仮称)」を卒業した歯科衛生士の採用意志を示した95件に対し、採用可能と思われる人数について質問したところ、下表の通りであった。採用可能人数は、回答件数と選択肢の人数を乗じたもので、合計132人となり、定員の64名を上回る結果となった。

選択項目	回答件数	採用可能人数
1人	32件	32人
2人	22件	44人
3人	2件	6人
4人	1件	4人
5人以上	2件	10人
人数は未定だが最低1人	36件	36人
合計	95件	132人

人材需要の見通し調査結果 まとめ

2023（令和5）年4月開設に向け、設置構想中の宝塚医療大学「保健医療学部 口腔保健学科（仮称）」の人材需要の見通しを測るため、卒業後に歯科衛生士としての採用を想定する病院、歯科診療所、保健センター、介護福祉施設等の751件の機関・施設にアンケート調査を依頼し、計140ヶ所からアンケートの回答を得た。

「保健医療学部 口腔保健学科（仮称）」の入学定員は64名を予定しているが、入学定員を超える95件の機関・施設から「保健医療学部 口腔保健学科（仮称）」を卒業した歯科衛生士を「採用したい」と回答があった。さらに、その95件に対し、採用可能と思われる人数を質問したところ、合計132人となり、入学定員を大きく上回る結果であった。



上記の通り、本調査（回収率18.6%）の結果のみにおいても採用意志を持つ機関・施設が、入学定員（64名予定）を大きく上回っており、2023（令和5）1年4月に設置構想中である宝塚医療大学「保健医療学部 口腔保健学科（仮称）」の人材需要の見通しについて問題がないと考えられる。

添 付 資 料

- 資料 1 アンケート調査概要
- 資料 2 人材需要アンケート調査用紙

資料1 アンケート調査概要

宝塚医療大学 保健医療学部 口腔保健学科 仮称

令和5（2023）年4月開設に向け、設置構想中

※記載されている内容は構想中のものであり、変更となる可能性があります

概 要	交通アクセス																																																	
<p>開設時期 令和5（2023）年4月</p> <p>開設場所 大塚中津キャンパス（大塚市北区中津6-9-38） 宝塚キャンパス（宝塚市花屋敷緑が丘1） <small>※1年次は宝塚キャンパス、2年次以降は大塚中津キャンパス</small></p> <p>入学定員 64名</p> <p>修業年限 4年</p> <p>取得学位 学士（口腔保健学）</p> <p>取得可能な資格 歯科衛生士国家試験受験資格</p>																																																		
<p>養成する人材像</p> <p>保健医療学部 口腔保健学科（仮称）では、豊かな人間性と教養、高い倫理観、コミュニケーション力、論理的思考力を備えた医療・保健・福祉分野で活躍できる歯科衛生士を養成します。</p>																																																		
<p>歯科衛生士とは</p> <p>Q) <u>歯科衛生士とは</u></p> <p>A) 歯科衛生士とは、歯科医師の予防及び口腔衛生の向上を図る（歯科衛生士法第1条）ことを目的として、人々の歯・口腔の健康づくりをサポートする国家資格の専門職です。</p> <p> <u>歯科診療所以外の業務</u>・・・</p> <p>病院の歯科では、医師と連携し手術前後にお口の管理を行い、治療の予防や早期発見に貢献します。</p> <p>保健所口腔保健センターでは、住民のお口の健康のための企画や相談に携わります。企業では、歯科専門職として商業案内や営業、セミナーの企画・運営を行います。</p> <p>介護施設での口腔ケアや、歯科衛生士養成校での教育も活動の場です。</p>	<p>学科の特色</p> <p><u>充実した教員陣による最新の歯科衛生士教育</u> 経験豊富な本学教員と非営利講師（国立大学教員等）による最新の歯科衛生士教育を受けることができます。</p> <p><u>COVID-19にも対応した教育システム</u> 最新のオンラインシステムを使用し、感染症流行時にも充実した授業を受けることができます。</p> <p><u>充実した臨床実習施設</u> 歯科医師会・歯科衛生士会の協力を得て、豊富で充実した施設で臨床実習ができます。</p> <p><u>幅広い就職先を考慮した就職支援</u> 歯科医院だけでなく、病院・介護施設・保健所（口腔保健センター）・医療系企業・歯科衛生士養成機関で働くために必要な知識・技術を身につけることができます。</p> <p><u>他学科との連携によるチーム医療教育</u> 看護学科（令和4年4月開設）、理学療法学科、薬学療法学科、鍼灸学科、介護福祉学科の学生と学び、チーム医療の芽を育むために必要な知識・技術を身につけることができます。</p> <p><u>学びをサポートする本学独自の奨学金制度</u> 本学部の学生は、日本学生支援機構の奨学金、修学支援奨学金に加えて本学独自の成績優秀者奨学金、下宿学生支援奨学金等を利用できます。</p>																																																	
<p>卒業後の進路 保健医療学部口腔保健学科（仮称）を卒業した学生は、以下のような進路での活躍が期待されます</p> <p>◆歯科診療所・クリニック ◆歯科・口腔外科のある病院 ◆保健所・口腔保健センター ◆介護施設（老人ホーム等）</p> <p>◆医療・歯科医療関連企業 ◆歯科衛生士養成機関 ◆大学院への進学 ……など</p>																																																		
<p>学 納 金 他大学を含む (円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">大学名 学部・学科名</th> <th style="width: 10%;">入学金</th> <th style="width: 10%;">授業料</th> <th style="width: 10%;">施設 管理費</th> <th style="width: 10%;">実習費</th> <th style="width: 10%;">その他</th> <th style="width: 10%;">初年度 納入金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宝塚医療大学 保健医療学部 口腔保健学科（仮称）</td> <td>300,000</td> <td>700,000</td> <td>200,000</td> <td>300,000</td> <td>—</td> <td>1,500,000</td> </tr> <tr> <td>梅花女子大学 看護保健学部 口腔保健学科</td> <td>220,000</td> <td>750,000</td> <td>300,000</td> <td>—</td> <td>300,000</td> <td>1,570,000</td> </tr> <tr> <td>大塚医科大学 医療保健学部 口腔保健学科</td> <td>260,000</td> <td>840,000</td> <td>—</td> <td>480,000</td> <td>—</td> <td>1,580,000</td> </tr> <tr> <td>神戸可成大学 保健科学部 口腔保健学科</td> <td>260,000</td> <td>800,000</td> <td>—</td> <td>100,000</td> <td>300,000</td> <td>1,460,000</td> </tr> <tr> <td>関西女子短期大学 歯科衛生学科</td> <td>300,000</td> <td>830,000</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>250,000</td> <td>1,380,000</td> </tr> <tr> <td>大牟田女子短期大学 歯科衛生学科</td> <td>200,000</td> <td>750,000</td> <td>240,000</td> <td>200,000</td> <td>—</td> <td>1,390,000</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">宝塚医療大学保健医療学部口腔保健学科（仮称）の学費は予定のものです。 他大学の学費は各大学ホームページ掲載情報（令和3年10月時点） ※いずれも納金費を含みません。また、実習等に併用費用・経費が別途必要な場合があります。</p>		大学名 学部・学科名	入学金	授業料	施設 管理費	実習費	その他	初年度 納入金	宝塚医療大学 保健医療学部 口腔保健学科（仮称）	300,000	700,000	200,000	300,000	—	1,500,000	梅花女子大学 看護保健学部 口腔保健学科	220,000	750,000	300,000	—	300,000	1,570,000	大塚医科大学 医療保健学部 口腔保健学科	260,000	840,000	—	480,000	—	1,580,000	神戸可成大学 保健科学部 口腔保健学科	260,000	800,000	—	100,000	300,000	1,460,000	関西女子短期大学 歯科衛生学科	300,000	830,000	—	—	250,000	1,380,000	大牟田女子短期大学 歯科衛生学科	200,000	750,000	240,000	200,000	—	1,390,000
大学名 学部・学科名	入学金	授業料	施設 管理費	実習費	その他	初年度 納入金																																												
宝塚医療大学 保健医療学部 口腔保健学科（仮称）	300,000	700,000	200,000	300,000	—	1,500,000																																												
梅花女子大学 看護保健学部 口腔保健学科	220,000	750,000	300,000	—	300,000	1,570,000																																												
大塚医科大学 医療保健学部 口腔保健学科	260,000	840,000	—	480,000	—	1,580,000																																												
神戸可成大学 保健科学部 口腔保健学科	260,000	800,000	—	100,000	300,000	1,460,000																																												
関西女子短期大学 歯科衛生学科	300,000	830,000	—	—	250,000	1,380,000																																												
大牟田女子短期大学 歯科衛生学科	200,000	750,000	240,000	200,000	—	1,390,000																																												

資料2 人材需要アンケート調査用紙



宝塚医療大学 保健医療学部口腔保健学科（仮称） 2023年4月開設に向け設置構想中



人材需要アンケート調査

対象：人事・採用ご担当者様

宝塚医療大学（兵庫県宝塚市）は、2023年4月に、保健医療学部口腔保健学科の開設を構想しています。本学ではこのアンケート調査を通して、将来本学科を卒業する歯科衛生士の採用をご検討いただく医療機関、福祉関連施設等の皆様からご意見を賜ることで、より充実した教育を行ってまいりたいと考えております。多忙の折に大変恐れ入りますが、本アンケート調査へのご協力を謹んでお願い申し上げます。※このアンケート調査は宝塚医療大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

【アンケート記入にあたっての注意事項】

- 記入は必ず黒鉛のシャープペンシル、または黒鉛筆を使用してください。
- 訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
- 解答用紙（マークシート）を汚したり、折り曲げたりしないでください。



「正しい回答」のように丁寧に塗りつぶしてください。

問1 貴機関・貴施設についてお答えください。（最もあてはまるもの1つにマーク）

- | | | |
|-----------------------------------|------------------------------|--|
| <input type="radio"/> 歯科診療所・クリニック | <input type="radio"/> 病院 | <input type="radio"/> 行政（保健所、市区町村等） |
| <input type="radio"/> 医療関連企業 | <input type="radio"/> 介護保険施設 | <input type="radio"/> その他 <input type="text"/> |

問2 貴機関・貴施設の所在地をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- | | | |
|---------------------------|----------------------------|--|
| <input type="radio"/> 大阪府 | <input type="radio"/> 兵庫県 | <input type="radio"/> 京都府 |
| <input type="radio"/> 奈良県 | <input type="radio"/> 和歌山県 | <input type="radio"/> その他 <input type="text"/> |

問3 貴機関・貴施設において現在勤務されている歯科衛生士の人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- | | | |
|------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------|
| <input type="radio"/> 1名 | <input type="radio"/> 2～4名 | <input type="radio"/> 5～9名 |
| <input type="radio"/> 10～19名 | <input type="radio"/> 20名以上 | <input type="radio"/> 歯科衛生士は勤務していない |

問4 貴機関・貴施設での歯科衛生士の採用状況についてお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- | | |
|--|---|
| <input type="radio"/> 毎年定期的に採用している | <input type="radio"/> 毎年ではないが定期的に採用している |
| <input type="radio"/> 欠員が出た場合に補充採用している | <input type="radio"/> 現在は採用していない |
| <input type="radio"/> わからない | |

問5 貴機関・貴施設における歯科衛生士の充足状況についてお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- | | | | |
|---------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|-----------------------------|
| <input type="radio"/> 大きく不足している | <input type="radio"/> やや不足している | <input type="radio"/> 適度に充足している | <input type="radio"/> 過剰である |
|---------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|-----------------------------|

設問は、裏面に続きます。





問7以降は、宝塚医療大学「保健医療学部口腔保健学科（仮称）」概要をご一読の上でお答えください。

問6 今後の歯科衛生士の新卒採用についてお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 4年制大学の卒業生を中心に採用していきたい
 短期大学の卒業生を中心に採用していきたい
 専門学校卒業生を中心に採用していきたい
 大学、短期大学、専門学校卒業生をバランスよく採用していきたい
 学校種には特にこだわらない
 その他

問7 宝塚医療大学「保健医療学部口腔保健学科（仮称）」は男女共学での開設を構想しています。「男性歯科衛生士」の就職先として適切と考えられるものを選んでください。（あてはまるものすべてにマーク）

- 歯科診療所・クリニック 病院 行政（保健所、市区町村等）
 医療関連企業 介護保険施設 その他

問8 貴機関・貴施設において将来、宝塚医療大学「保健医療学部口腔保健学科（仮称）」を卒業した歯科衛生士を、採用したいと思われませんか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 採用したい 採用しない わからない

問9 問8で「採用したい」と回答された場合、よろしければ採用可能と思われる人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 1人 2人 3人 4人 5人以上 人数は未定だが最低1人

問10 宝塚医療大学の「保健医療学部口腔保健学科（仮称）」に対してご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上となります。ご協力いただき、ありがとうございました。



教員名簿

学長の氏名等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本 給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	キシノ マサミ 岸野 雅方 <平成27年11月>		商学士		宝塚医療大学 学長 (平成27.11～令和7.3)
						全国柔整鍼灸協同組合 理事長 (平6.7)
						学校法人平成医療学園 理事長 (平13.4)
						社会福祉法人山の子会 理事長 (平16.8)
						学校法人札幌青葉学園 理事長 (平29.3)

教員の氏名等

(保健医療学部口腔保健学科)													
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学の職務に 従事する週当たり 平均日数	
1	専	教授 (学科長)	スギヤマ マサル 杉山 勝 <令和5年4月>		歯学博士		基礎ゼミナール 口腔保健と専門職※ 歯科衛生士概論※ 歯科臨床概論※ 口腔外科学 医療安全管理学 臨床口腔保健応用医学演習※ 口腔機能管理実習 食生活指導演習 摂食・嚥下障害学※ 医療コミュニケーション※ 医療・保健・福祉における連携※ 口腔保健特論演習Ⅲ※ 歯科衛生士臨床実習Ⅰ 歯科衛生士臨床実習Ⅱ 歯科衛生士臨床実習Ⅲ 口腔保健学研究論※ 口腔保健学研究演習Ⅰ 口腔保健学研究演習Ⅱ 科学英語演習Ⅰ※ 科学英語演習Ⅱ※ ビジネスコミュニケーション演習	1前 3前 1前 1前 2前 2前 4前 3前 2後 2前 3前 4後 3後 4前 4後 2後 3前 3後 2前 2後 1後	1.0 0.3 0.5 0.1 2.0 1.0 0.0 0.8 0.4 0.4 0.2 0.5 9.0 9.0 2.0 0.2 1.0 1.0 0.5 0.5 2.0	1 1 1 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 2	宝塚医療大学 保健医療学部 口腔保健学科 設置準備室室長 (令2.4)	5日	
2	専	教授	ハニオカ タカシ 埴岡 隆 <令和5年4月>		歯学博士		地域歯科保健 衛生行政 口腔保健と専門職※ 臨床口腔保健応用医学演習※ 歯科保健指導論※ 歯科保健指導実習Ⅰ 歯科保健指導実習Ⅱ 歯科保健指導実習Ⅲ 歯科保健指導実習Ⅳ 口腔保健特論演習Ⅱ※ 口腔保健学研究論 ※ 口腔保健学研究演習Ⅰ 口腔保健学研究演習Ⅱ	2後 2後 3前 4前 2前 2前 2後 2後 3前 4後 2後 3前 3後	1.0 1.0 0.3 0.1 1.0 1.0 0.8 0.8 2.0 0.6 0.6 1.0 1.0	1 1 1 1 1 2 2 2 2 1 2 1 1	宝塚医療大学 保健医療学部 理学療法学科 特別教授 (令4.4)	5日	
3	専	教授	ヨシダ アツシ 吉田 篤 <令和5年4月>		歯学博士		全身解剖学 組織学・発生学演習 口腔解剖学 口腔基礎科学演習 生理学・口腔生理学 口腔保健学研究論※ 口腔保健学研究演習Ⅰ 口腔保健学研究演習Ⅱ	1前 1後 1前 1後 1前 2後 3前 3後	2.0 0.5 2.0 0.5 2.0 0.2 1.0 1.0	1 1 1 1 1 2 1 1	宝塚医療大学 保健医療学部 理学療法学科 特別教授 (令4.4)	5日	
4	専	教授	モリタ マナブ 森田 学 <令和5年4月>		博士 (歯学)		口腔衛生学 歯科統計学・疫学演習 衛生学・公衆衛生学 歯科臨床概論※ 歯科予防処置論 歯科予防処置実習Ⅰ 歯科予防処置実習Ⅱ 歯科予防処置実習Ⅲ 口腔保健特論演習Ⅰ※ 歯科英会話 口腔保健学研究論※ 口腔保健学研究演習Ⅰ 口腔保健学研究演習Ⅱ	1後 2前 1後 1前 2前 2前 2後 3前 4後 1後 2後 3前 3後	1.0 0.5 1.0 0.3 2.0 1.0 2.0 1.0 1.0 1.0 0.2 1.0 1.0	1 1 1 1 1 2 2 2 1 1 2 1	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 予防歯学分野 教授 (平20.4)	4日	

教員の氏名等

(保健医療学部口腔保健学科)

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
5	専	教授	アラカワ シンイチ 荒川 真一 <令和6年4月>		歯学博士		微生物学・免疫学 歯科臨床概論※ 歯科保存学 成人・高齢者歯科学※ 臨床口腔保健応用医学演習※ 歯科診療補助実習Ⅰ 歯科診療補助実習Ⅱ 歯科診療補助実習Ⅲ 口腔保健特論演習Ⅲ※ 口腔保健学研究論※ 口腔保健学研究演習Ⅰ 口腔保健学研究演習Ⅱ	1後 1前 2前 2後 4前 2前 2後 3前 4後 2後 3前 3後	2.0 0.3 4.0 0.2 0.3 1.2 1.0 1.0 0.5 0.2 1.0 1.0	1 1 2 1 1 2 2 1 1 2 1	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 生涯口腔保健衛生学分野 教授 (平24.7)	5日
	兼任	講師	アラカワ シンイチ 荒川 真一 <令和5年4月>		歯学博士		微生物学・免疫学 歯科臨床概論※	1後 1前	2.0 0.3	1 1		
6	専	准教授	ノガミ ユキコ 野上 有紀子 <令和5年4月>		博士(歯学) 博士(口腔保健福祉学)		歯科衛生士概論※ 口腔機能管理実習 食生活指導演習 歯科診療補助実習Ⅰ 歯科診療補助実習Ⅱ 歯科診療補助実習Ⅲ 口腔保健特論演習Ⅲ※ 口腔保健学研究論※ 口腔保健学研究演習Ⅰ 口腔保健学研究演習Ⅱ	1前 3前 2後 2前 2後 3前 4後 2後 3前 3後	0.5 0.6 0.4 1.4 1.0 1.0 0.5 0.2 1.0 1.0	1 2 2 2 2 2 1 2 1 1	なほ歯科衛生専門学校 専任教員 (令和3.4)	5日
7	専	准教授	ムライ トモヨ 村井 朋代 <令和5年4月>		博士(歯学)		口腔保健と専門職※ 臨床口腔保健応用医学演習※ 歯科予防処置実習Ⅰ 歯科予防処置実習Ⅲ 食生活指導演習 歯科診療補助実習Ⅱ 歯科診療補助実習Ⅲ 医療コミュニケーション※ 医療・保健・福祉における連携※ 口腔保健特論演習Ⅲ※ 口腔保健学研究論※ 口腔保健学研究演習Ⅰ 口腔保健学研究演習Ⅱ	3前 4前 2前 3前 2後 2後 3前 3前 3前 4後 2後 3前 3後	0.4 0.3 1.0 1.0 0.4 1.0 1.0 0.3 0.4 0.5 0.2 1.0 1.0	1 1 2 2 2 2 1 1 1 1 2 1	梅花女子大学 看護保健学部 口腔保健学科 専任講師 (平28.4)	5日
8	専	講師	モリタ アキコ 森田 章子 <令和5年4月>		博士(歯学)		組織学・発生学演習 口腔基礎科学演習 歯科統計学・疫学演習 医療情報処理演習※ 歯科臨床概論※ 歯科補綴学 成人・高齢者歯科学※ 臨床口腔保健応用医学演習※ 歯科診療補助実習Ⅰ 歯科診療補助実習Ⅱ 歯科診療補助実習Ⅲ 口腔保健学研究論※ 口腔保健学研究演習Ⅰ 口腔保健学研究演習Ⅱ 科学英語演習Ⅰ※ 科学英語演習Ⅱ※	1後 1後 2前 2後 1前 1後 2後 4前 2前 2後 3前 2後 2後 3前 3後 2前 2後	0.5 0.5 0.5 0.5 0.3 2.0 0.4 0.3 1.4 1.0 1.0 0.2 1.0 1.0 0.5 0.5	1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1	大阪大学大学院 歯学研究科 有床義歯補綴学・高齢者歯科分野 招聘教員 (令2.4)	5日
9	専	講師	セトグチ ユウコ 瀬戸口 祐子 <令和6年4月>		国際情報修士		歯科予防処置実習Ⅰ 歯科保健指導論※ 歯科保健指導実習Ⅱ 歯科保健指導実習Ⅲ 歯科保健指導実習Ⅳ 口腔保健特論演習Ⅱ※	2前 2前 2後 2後 3前 4後	1.0 1.0 0.6 0.6 2.0 0.7	2 1 2 2 2 1	なほ歯科衛生専門学校 専任教員 (令元.2まで)	5日

教員の氏名等

(保健医療学部口腔保健学科)

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
10	専	講師	カネコ ノブコ 金子 信子 <令和6年4月>		短期大学士 (歯科衛生学)		成人・高齢者歯科学※ 歯科予防処置実習Ⅲ 歯科保健指導実習Ⅰ 歯科保健指導実習Ⅱ 歯科保健指導実習Ⅲ 口腔機能管理実習 食生活指導演習 摂食嚥下障害学※ 口腔保健特論演習Ⅱ※ 医療コミュニケーション※ 医療・保健・福祉における連携※	2後 3前 2前 2後 2後 3前 2後 2前 4後 3前	0.4 1.0 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 0.3 0.7 0.3	1 2 2 2 2 2 2 1 1 1	なにかわ歯科衛生専門学校 専任教員 (平30.4)	5日
11	専	助教	ナムラ ナツミ 名村 夏海 <令和6年4月>		修士(リハビリテーション科学)		歯科予防処置実習Ⅰ 歯科予防処置実習Ⅱ 歯科予防処置実習Ⅲ 口腔保健特論演習Ⅰ※	2前 2後 3前 4後	1.0 2.0 1.0 1.0	2 2 2 1	近畿大学病院 歯科衛生士 (令3.6まで)	5日
12	兼任	教授	ヒロタ ヨシヒコ 廣田 佳彦 <令和5年4月>		博士(教育学)		哲学 東洋の歴史 医療倫理	1前 1前 1前	2.0 2.0 2.0	1 1 1	宝塚医療大学 保健医療学部 教授 (平31.4)	
13	兼任	准教授	アダチ ケンジ 足立 賢二 <令和5年4月>		博士(文学)		文化人類学	1後	2.0	1	宝塚医療大学 保健医療学部 准教授 (平23.4)	
14	兼任	教授	タチバナ ヒロヒサ 橘 浩久 <令和5年4月>		理学博士		統計学	1後	2.0	1	宝塚医療大学 保健医療学部 教授 (平23.4)	
15	兼任	講師	マエダ シゲユキ 前田 誠通 <令和5年4月>		学士(工学)		数学	1前	2.0	1	宝塚医療大学 保健医療学部 講師 (平26.4)	
16	兼任	講師	アベ アキヒロ 阿部 彰宏 <令和5年4月>		工学修士		物理学 化学 生物学	1後 1前 1前	2.0 2.0 2.0	1 1 1	宝塚医療大学 保健医療学部 講師 (平23.4)	
17	兼任	教授	サワヤマ アキヒロ 澤山 明宏 <令和5年4月>		修士(社会学)		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英会話	1前 1後 1後 1前	1.0 1.0 1.0 1.0	1 1 1 1	宝塚医療大学保健医療学部 教授 (令2.4)	
18	兼任	教授	サカイ タカフミ 酒井 孝文 <令和5年4月>		博士(保健科学)		健康と体力づくり	1後	2.0	1	宝塚医療大学保健医療学部 教授 (平28.4)	
19	兼任	准教授	モリ アヤコ 森 彩子 <令和5年4月>		学士(保健科学)		バイオメカニクス	1前	2.0	1	宝塚医療大学保健医療学部 准教授 (平23.4)	
20	兼任	講師	トリイ ジュンキ 鳥井 淳貴 <令和5年4月>		修士(学校教育学)		体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ	1前 1後	1.0 1.0	1 1	宝塚医療大学保健医療学部 講師 (平24.4)	
21	兼任	助教	ヌマサワ シュン 沼澤 俊 <令和5年4月>		修士(理学療法学)		スポーツトレーニング論	1前	2.0	1	宝塚医療大学保健医療学部助教(令4.4)	
22	兼任	講師	タケモリ ミホ 竹森 美穂 <令和5年4月>		博士(社会福祉学)		少子高齢化と社会 社会福祉学	1前 1前	2.0 2.0	1 1	宝塚医療大学社会福祉士養成課程教員 (令2.4)	

教員の氏名等

(保健医療学部口腔保健学科)

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
23	兼任	教授	キシノ ミツノブ 岸野 万伸 <令和5年4月>		歯学博士		臨床検査学・歯科麻酔学※ 病理学・口腔病理学	3前 1後	0.5 2.0	1 1	宝塚医療大学保健医療学部教授(令2.4)	
24	兼任	教授	チョウ ケンカ 張 建華 <令和6年4月>		医学博士		臨床医学	2前	4.0	2	宝塚医療大学保健医療学部教授(平20.3)	
25	兼任	講師	三好 このみ <令和6年4月>		学士(看護学)		基礎看護学	2前	1.0	1	宝塚医療大学 看護師(令2.4)	
26	兼任	講師	トクノ ツヨシ 徳野 剛 <令和5年4月>		法修士		日本国憲法	1前	2.0	1	徳野法務行政書士事務所 所長(平24.4)	
27	兼任	講師	オカダ ヤスシ 岡田 康志 <令和5年10月>		学士(法学)		社会と法	1後	2.0	1	宝塚医療大学非常勤講師(平30.4)	
28	兼任	講師	シクラ タカアキ 志倉 敬章 <令和5年10月>		修士(保健医療学)		医療経営学 マーケティング論	1後 1後	2.0 2.0	1 1	関西看護医療予備校 講師(平31.4)	
29	兼任	講師	ヤマワキ ヨシフミ 山脇 良文 <令和5年4月>		理学史		情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1前 1後	2.0 2.0	2 2	伊藤忠テクノソリューションズ 嘱託職員(平28.4)	
30	兼任	講師	ハラダ ノブロウ 原田 伸郎 <令和5年4月>		経済学士		コミュニケーション演習	1前	1.0	1	宝塚医療大学特別客員教授(令3.4)	
31	兼任	講師	オカジマ タイゾウ 岡島 泰三 <令和5年4月>		博士(教育心理学)		臨床心理学	1後	2.0	1	関西学院大学文学部心理学科非常勤講師(平22.4)	
32	兼任	講師	タメフサ ヤスコ 爲房 恭子 <令和5年4月>		家政学士		栄養代謝学・生化学※	1後	0.5	1	(医)清々会 清田クリニック(平27.4)	
33	兼任	講師	カトウ ユキオ 加藤 幸夫 <令和5年4月>		歯学博士		栄養代謝学・生化学※	1後	0.5	1	広島大学名誉教授(平25.4)	
34	兼任	講師	ウエダ ミキコ 上田 幹子 <令和5年4月>		博士(薬学)		薬理学・歯科薬理学	1後	2.0	1	大阪大学大学院薬学研究科 教授(平30.4)	
35	兼任	講師	タマガワ ヒロオ 玉川 裕夫 <令和6年4月>		博士(歯学)		医療情報処理演習※	2後	0.5	1	鈴鹿医療科学大学客員教授(令元.4)	
36	兼任	講師	オオツグ マサトシ 大継 將寿 <令和6年4月>		博士(歯学)		小児歯科学	2前	1.0	1	大阪大学歯学研究科小児歯科学教室助教(平29.4)	
37	兼任	講師	タンネ カズオ 丹根 一夫 <令和6年4月>		歯学博士		歯科矯正学	2前	1.0	1	広島大学大学院医学系研究科客員教授(平28.4)	
38	兼任	講師	カキモト ナオヤ 柿本 直也 <令和5年4月>		博士(歯学)		歯科放射線学	1後	1.0	1	広島大学医系科学研究科教授(平31.4)	
39	兼任	講師	アキヤマ シゲヒサ 秋山 茂久 <令和6年4月>		博士(歯学)		障害者歯科学	2後	1.0	1	大阪大学歯学部附属病院准教授(平20.4)	
40	兼任	講師	アサヒ ヨシナオ 旭 吉直 <令和6年4月>		歯学博士		臨床検査学・歯科麻酔学※ 救急蘇生学	3前 2前	0.5 1.0	1 1	社会医療法人大道会森之宮病院歯科診療部部長(平18.4)	
41	兼任	講師	オカザキ マサユキ 岡崎 正之 <令和5年4月>		工学博士		歯科材料学	1後	1.0	1	大阪大学大学院工学研究科招へい教授(平26.4)	
42	兼任	講師	コタニ ヤスコ 小谷 泰子 <令和6年4月>		博士(歯学)		摂食嚥下障害学※	2前	0.3	1	医療法人美和会平成歯科クリニック院長(平21.4)	

教員の氏名等													
(保健医療学部口腔保健学科)												宝塚キャンパス	
調査番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	
1	専	教授(学科長)	スギヤマ マサル 杉山 勝 <令和5年4月>		歯学博士		基礎ゼミナール 歯科衛生士概論※ 歯科臨床概論※ ビジネスコミュニケーション演習	1前 1前 1前 1後	1.0 0.5 0.1 2.0	1 1 1 2	宝塚医療大学 保健医療学部 口腔保健学科 設置準備室室長 (令2.4)	5日	
3	専	教授	ヨシダ アツシ 吉田 篤 <令和5年4月>		歯学博士		全身解剖学 組織学・発生学演習 口腔解剖学 口腔基礎科学演習 生理学・口腔生理学 口腔保健学研究論※ 口腔保健学研究演習Ⅰ 口腔保健学研究演習Ⅱ	1前 1後 1前 1後 1前 2後 3前 3後	2.0 0.5 2.0 0.5 2.0 0.2 1.0 1.0	1 1 1 1 1 2 1 1	宝塚医療大学 保健医療学部 理学療法学科 特別教授 (令4.4)	5日	
4	専	教授	モリタ マナブ 森田 学 <令和5年4月>		博士(歯学)		口腔衛生学 衛生学・公衆衛生学 歯科臨床概論※ 歯科英会話	1後 1後 1前 1後	1.0 1.0 0.3 1.0	1 1 1 1	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 予防歯学分野 教授 (平20.4)	4日	
5	専	教授	アラカワ シンイチ 荒川 真一 <令和6年4月>		歯学博士		微生物学・免疫学 歯科臨床概論※	1後 1前	2.0 0.3	1 1	東京医科歯科大学大学院 歯医学総合研究科 生涯口腔保健衛生学分野 教授 (平24.7)	5日	
	兼任	講師	アラカワ シンイチ 荒川 真一 <令和5年4月>		歯学博士		微生物学・免疫学 歯科臨床概論※	1後 1前	2.0 0.3	1 1			
6	専	准教授	ノガミ ユキコ 野上 有紀子 <令和5年4月>		博士(歯学) 博士(口腔保健福祉学)		歯科衛生士概論※	1前	0.5	1	なにかわ歯科衛生専門学校 専任教員 (令和3.4)	5日	
8	専	講師	モリタ アキコ 森田 章子 <令和5年4月>		博士(歯学)		組織学・発生学演習 口腔基礎科学演習 歯科臨床概論※ 歯科補綴学	1後 1後 1前 1後	0.5 0.5 0.3 2.0	1 1 1 1	大阪大学大学院 歯学研究科 有床義歯補綴学・高齢者歯科分野 招聘教員 (令2.4)	5日	
12	兼任	教授	ヒロタ ヨシヒコ 廣田 佳彦 <令和5年4月>		博士(教育学)		哲学 東洋の歴史 医療倫理	1前 1前 1前	2.0 2.0 2.0	1 1 1	宝塚医療大学 保健医療学部 教授 (平31.4)		
13	兼任	准教授	アダチ ケンジ 足立 賢二 <令和5年4月>		博士(文学)		文化人類学	1後	2.0	1	宝塚医療大学 保健医療学部 准教授 (平23.4)		
14	兼任	教授	タチバナ ヒロヒサ 橘 浩久 <令和5年4月>		理学博士		統計学	1後	2.0	1	宝塚医療大学 保健医療学部 教授 (平23.4)		
15	兼任	講師	マエダ シゲユキ 前田 誠通 <令和5年4月>		学士(工学)		数学	1前	2.0	1	宝塚医療大学 保健医療学部 講師 (平26.4)		
16	兼任	講師	アベ アキヒロ 阿部 彰宏 <令和5年4月>		工学修士		物理学 化学 生物学	1後 1前 1前	2.0 2.0 2.0	1 1 1	宝塚医療大学 保健医療学部 講師 (平23.4)		
17	兼任	教授	サワヤマ アキヒロ 澤山 明宏 <令和5年4月>		修士(社会学)		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英会話	1前 1後 1後 1前	1.0 1.0 1.0 1.0	1 1 1 1	宝塚医療大学保健医療学部 教授 (令2.4)		
18	兼任	教授	サカイ タカフミ 酒井 孝文 <令和5年4月>		博士(保健科学)		健康と体力づくり	1後	2.0	1	宝塚医療大学保健医療学部 教授 (平28.4)		

教員の氏名等

(保健医療学部口腔保健学科)

宝塚キャンパス

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
19	兼任	准教授	モリ アヤコ 森 彩子 <令和5年4月>		学士(保健科学)		バイオメカニクス	1前	2.0	1	宝塚医療大学保健医療学部 准教授 (平23.4)	
20	兼任	講師	トリイ ジュンキ 鳥井 淳貴 <令和5年4月>		修士(学校教育学)		体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ	1前 1後	1.0 1.0	1 1	宝塚医療大学保健医療学部 講師 (平24.4)	
21	兼任	助教	ヌマサワ シュン 沼澤 俊 <令和5年4月>		修士(理学療法学)		スポーツトレーニング論	1前	2.0	1	宝塚医療大学保健医療学部助教(令4.4)	
22	兼任	講師	タケモリ ミホ 竹森 美穂 <令和5年4月>		博士(社会福祉学)		少子高齢化と社会 社会福祉学	1前 1前	2.0 2.0	1 1	宝塚医療大学社会福祉士養成課程教員 (令2.4)	
23	兼任	教授	キシノ ミツノブ 岸野 万伸 <令和5年4月>		歯学博士		病理学・口腔病理学	1後	2.0	1	宝塚医療大学保健医療学部教授(令2.4)	
26	兼任	講師	トクノ ツヨシ 徳野 剛 <令和5年4月>		法修士		日本国憲法	1前	2.0	1	徳野法務行政書士事務所 所長 (平24.4)	
27	兼任	講師	オカダ ヤスシ 岡田 康志 <令和5年10月>		学士(法学)		社会と法	1後	2.0	1	宝塚医療大学非常勤講師(平30.4)	
28	兼任	講師	シクラ タカアキ 志倉 敬章 <令和5年10月>		修士(保健医療学)		医療経営学 マーケティング論	1後 1後	2.0 2.0	1 1	関西看護医療予備校 講師(平31.4)	
29	兼任	講師	ヤマワキ ヨシフミ 山脇 良文 <令和5年4月>		理学史		情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1前 1後	2.0 2.0	2 2	伊藤忠テクノソリューションズ 嘱託職員 (平28.4)	
30	兼任	講師	ハラダ ノブコウ 原田 伸郎 <令和5年4月>		経済学士		コミュニケーション演習	1前	1.0	1	宝塚医療大学特別客員教授(令3.4)	
31	兼任	講師	オカジマ タイゾウ 岡島 泰三 <令和5年4月>		博士(教育心理学)		臨床心理学	1後	2.0	1	関西学院大学文学部心理学科非常勤講師 (平22.4)	
32	兼任	講師	タメフサ ヤスコ 爲房 恭子 <令和5年4月>		家政学士		栄養代謝学・生化学※	1後	0.5	1	(医)清々会 清田クリニック (平27.4)	
33	兼任	講師	カトウ ユキオ 加藤 幸夫 <令和5年4月>		歯学博士		栄養代謝学・生化学※	1後	0.5	1	広島大学名誉教授 (平25.4)	
34	兼任	講師	ウエダ ミキコ 上田 幹子 <令和5年4月>		博士(薬学)		薬理学・歯科薬理学	1後	2.0	1	大阪大学大学院薬学研究科 教授 (平30.4)	
38	兼任	講師	カキモト ナオヤ 柿本 直也 <令和5年4月>		博士(歯学)		歯科放射線学	1後	1.0	1	広島大学医系科学研究科教授(平31.4)	
41	兼任	講師	オカザキ マサユキ 岡崎 正之 <令和5年4月>		工学博士		歯科材料学	1後	1.0	1	大阪大学大学院工学研究科招へい教授 (平26.4)	

教員の氏名等												
(保健医療学部口腔保健学科)										大阪中津キャンパス		
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
1	専	教授(学科長)	スギヤマ マサル 杉山 勝 <令和5年4月>		歯学博士		口腔保健と専門職※ 口腔外科学 医療安全管理学 臨床口腔保健応用医学演習※ 口腔機能管理実習 食生活指導演習 摂食・嚥下障害学※ 医療コミュニケーション※ 医療・保健・福祉における連携※ 口腔保健特論演習Ⅲ※ 歯科衛生士臨地実習Ⅰ 歯科衛生士臨地実習Ⅱ 歯科衛生士臨地実習Ⅲ 口腔保健学研究論※ 口腔保健学研究演習Ⅰ 口腔保健学研究演習Ⅱ 科学英語演習Ⅰ※ 科学英語演習Ⅱ※	3前 2前 2前 4前 3前 2後 2前 3前 3前 4後 3後 4前 4後 2後 3前 3後 2前 2後	0.3 2.0 1.0 0.0 0.8 0.4 0.4 0.4 0.2 0.5 9.0 9.0 2.0 0.2 1.0 1.0 0.5 0.5	1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1	宝塚医療大学 保健医療学部 口腔保健学科 設置準備室室長 (令2.4)	5日
2	専	教授	ハニオカ タカシ 畑岡 隆 <令和5年4月>		歯学博士		地域歯科保健 衛生行政 口腔保健と専門職※ 臨床口腔保健応用医学演習※ 歯科保健指導論※ 歯科保健指導実習Ⅰ 歯科保健指導実習Ⅱ 歯科保健指導実習Ⅲ 歯科保健指導実習Ⅳ 口腔保健特論演習Ⅱ※ 口腔保健学研究論 ※ 口腔保健学研究演習Ⅰ 口腔保健学研究演習Ⅱ	2後 2後 3前 4前 2前 2前 2後 2後 3前 4後 2後 3前 3後	1.0 1.0 0.3 0.1 1.0 1.0 0.8 0.8 2.0 0.6 0.6 1.0 1.0	1 1 1 1 1 2 2 2 2 1 2 1 1	宝塚医療大学 保健医療学部 理学療法学科 特別教授 (令4.4)	5日
4	専	教授	モリタ マナブ 森田 学 <令和5年4月>		博士(歯学)		歯科統計学・疫学演習 歯科予防処置論 歯科予防処置実習Ⅰ 歯科予防処置実習Ⅱ 歯科予防処置実習Ⅲ 口腔保健特論演習Ⅰ※ 口腔保健学研究論※ 口腔保健学研究演習Ⅰ 口腔保健学研究演習Ⅱ	2前 2前 2前 2後 3前 4後 2後 3前 3後	0.5 2.0 1.0 2.0 1.0 1.0 0.2 1.0 1.0	1 1 2 2 2 1 2 1 1	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 予防歯学分野 教授 (平20.4)	4日
5	専	教授	アラカワ シンイチ 荒川 真一 <令和6年4月>		歯学博士		歯科保存学 成人・高齢者歯科学※ 臨床口腔保健応用医学演習※ 歯科診療補助実習Ⅰ 歯科診療補助実習Ⅱ 歯科診療補助実習Ⅲ 口腔保健特論演習Ⅲ※ 口腔保健学研究論※ 口腔保健学研究演習Ⅰ 口腔保健学研究演習Ⅱ	2前 2後 4前 2前 2後 3前 4後 2後 3前 3後	4.0 0.2 0.3 1.2 1.0 1.0 0.5 0.2 1.0 1.0	2 1 1 2 2 2 1 2 1 1	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 生涯口腔保健衛生学 分野 教授 (平24.7)	5日
6	専	准教授	ノガミ ユキコ 野上 有紀子 <令和5年4月>		博士(歯学) 博士(口腔保健福祉学)		口腔機能管理実習 食生活指導演習 歯科診療補助実習Ⅰ 歯科診療補助実習Ⅱ 歯科診療補助実習Ⅲ 口腔保健特論演習Ⅲ※ 口腔保健学研究論※ 口腔保健学研究演習Ⅰ 口腔保健学研究演習Ⅱ	3前 2後 2前 2後 3前 4後 2後 3前 3後	0.6 0.4 1.4 1.0 1.0 0.5 0.2 1.0 1.0	2 2 2 2 2 1 2 1 1	なにわ歯科衛生専門学校 専任教員 (令和3.4)	5日

教員の氏名等

(保健医療学部口腔保健学科)

大阪中津キャンパス

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
7	専	准教授	ムライ トモヨ 村井 朋代 <令和5年4月>		博士(歯学)		口腔保健と専門職※ 臨床口腔保健応用医学演習※ 歯科予防処置実習Ⅰ 歯科予防処置実習Ⅲ 食生活指導演習 歯科診療補助実習Ⅱ 歯科診療補助実習Ⅲ 医療コミュニケーション※ 医療・保健・福祉における連携※ 口腔保健特論演習Ⅲ※ 口腔保健学研究論※ 口腔保健学研究演習Ⅰ 口腔保健学研究演習Ⅱ	3前 4前 2前 3前 2後 2後 3前 3前 3前 4後 2後 3前 3後	0.4 0.3 1.0 1.0 0.4 1.0 1.0 0.3 0.4 0.5 0.2 1.0 1.0	1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2 1	梅花女子大学 看護保健学部 口腔保健学科 専任講師 (平28.4)	5日
8	専	講師	モリタ アキコ 森田 章子 <令和5年4月>		博士(歯学)		歯科統計学・疫学演習 医療情報処理演習※ 成人・高齢者歯科学※ 臨床口腔保健応用医学演習※ 歯科診療補助実習Ⅰ 歯科診療補助実習Ⅱ 歯科診療補助実習Ⅲ 口腔保健学研究論※ 口腔保健学研究演習Ⅰ 口腔保健学研究演習Ⅱ 科学英語演習Ⅰ※ 科学英語演習Ⅱ※	2前 2後 2後 4前 2前 2後 3前 2後 3前 3後 2前 2後	0.5 0.5 0.4 0.3 1.4 1.0 1.0 0.2 1.0 1.0 0.5 0.5	1 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1	大阪大学大学院 歯学研究科 有床義歯補綴学・高齢者歯科分野 招聘教員 (令2.4)	5日
9	専	講師	セトグチ ユウコ 瀬戸口 祐子 <令和6年4月>		国際情報 修士		歯科予防処置実習Ⅰ 歯科保健指導論※ 歯科保健指導実習Ⅱ 歯科保健指導実習Ⅲ 歯科保健指導実習Ⅳ 口腔保健特論演習Ⅱ※	2前 2前 2後 2後 3前 4後	1.0 1.0 0.6 0.6 2.0 0.7	2 1 2 2 2 1	なにか歯科衛生専門 専任教員 (令元.2まで)	5日
10	専	講師	カネコ ノブコ 金子 信子 <令和6年4月>		短期大学 士(歯科衛生学)		成人・高齢者歯科学※ 歯科予防処置実習Ⅲ 歯科保健指導実習Ⅰ 歯科保健指導実習Ⅱ 歯科保健指導実習Ⅲ 口腔機能管理実習 食生活指導演習 摂食嚥下障害学※ 口腔保健特論演習Ⅱ※ 医療コミュニケーション※ 医療・保健・福祉における連携※	2後 3前 2前 2後 2後 3前 2後 2前 4後 3前 3前	0.4 1.0 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 0.3 0.7 0.3 0.4	1 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1	なにか歯科衛生専門 学校 専任教員 (平30.4)	5日
11	専	助教	ナムラ ナツミ 名村 夏海 <令和6年4月>		修士(リハビリテーション科学)		歯科予防処置実習Ⅰ 歯科予防処置実習Ⅱ 歯科予防処置実習Ⅲ 口腔保健特論演習Ⅰ※	2前 2後 3前 4後	1.0 2.0 1.0 1.0	2 2 2 1	近畿大学病院 歯科衛生士 (令3.6まで)	5日
23	兼任	教授	キンノ ミツノブ 岸野 万伸 <令和5年4月>		歯学博士		臨床検査学・歯科麻酔学※	3前	0.5	1	宝塚医療大学保健医療学部教授(令2.4)	
24	兼任	教授	チョウ ケンカ 張 建華 <令和6年4月>		医学博士		臨床医学	2前	4.0	2	宝塚医療大学保健医療学部教授(平20.3)	
25	兼任	講師	三好 このみ <令和6年4月>		学士(看護学)		基礎看護学	2前	1.0	1	宝塚医療大学 看護師(令2.4)	

教員の氏名等

(保健医療学部口腔保健学科)

大阪中津キャンパス

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
35	兼任	講師	タマガワ ヒロオ 玉川 裕夫 <令和6年4月>		博士(歯学)		医療情報処理演習※	2後	0.5	1	鈴鹿医療科学大学客員教授(令和元.4)	
36	兼任	講師	オオツグ マサトシ 大継 將寿 <令和6年4月>		博士(歯学)		小児歯科学	2前	1.0	1	大阪大学歯学研究科小児歯科学教室助教(平29.4)	
37	兼任	講師	タンネ カズオ 丹根 一夫 <令和6年4月>		歯学博士		歯科矯正学	2前	1.0	1	広島大学大学院医学系研究科客員教授(平28.4)	
39	兼任	講師	アキヤマ シゲヒサ 秋山 茂久 <令和6年4月>		博士(歯学)		障害者歯科学	2後	1.0	1	大阪大学歯学部附属病院准教授(平20.4)	
40	兼任	講師	アサヒ ヨシナオ 旭 吉直 <令和6年4月>		歯学博士		臨床検査学・歯科麻酔学※ 救急蘇生学	3前 2前	0.5 1.0	1 1	社会医療法人大道会森之宮病院歯科診療部部長(平18.4)	
42	兼任	講師	コタニ ヤスコ 小谷 泰子 <令和6年4月>		博士(歯学)		摂食嚥下障害学※	2前	0.3	1	医療法人美和会平成歯科クリニック院長(平21.4)	

専任教員の年齢構成・学位保有状況										
職 位	学 位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合 計	備 考
教 授	博 士	人	人	人	人	人	2人	3人	5人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大士学	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	博 士	人	人	人	1人	1人	人	人	2人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大士学	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講 師	博 士	人	人	人	1人	人	人	人	1人	
	修 士	人	人	人	1人	人	人	人	1人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大士学	人	人	人	1人	人	人	人	1人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助 教	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	1人	人	人	人	人	人	1人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大士学	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合 計	博 士	人	人	人	2人	1人	2人	3人	8人	
	修 士	人	1人	人	1人	人	人	人	2人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大士学	人	人	人	1人	人	人	人	1人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	

(注)

- 1 この書類は、申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。
- 2 この書類は、専任教員についてのみ、作成すること。
- 3 この書類は、申請又は届出に係る学部等の開設後、当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度における状況を記載すること。
- 4 専門職大学院若しくは専門職大学の前期課程を修了した者又は専門職大学又は専門職短期大学を卒業した者に対し授与された学位については、「その他」の欄にその数を記載し、「備考」の欄に、具体的な学位名称を付記すること。